

■ 凡例
 // 工事対象建物を示す

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房				A1:S=1/400 A3:S=1/800	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	配置図・案内図	M-03

機器表

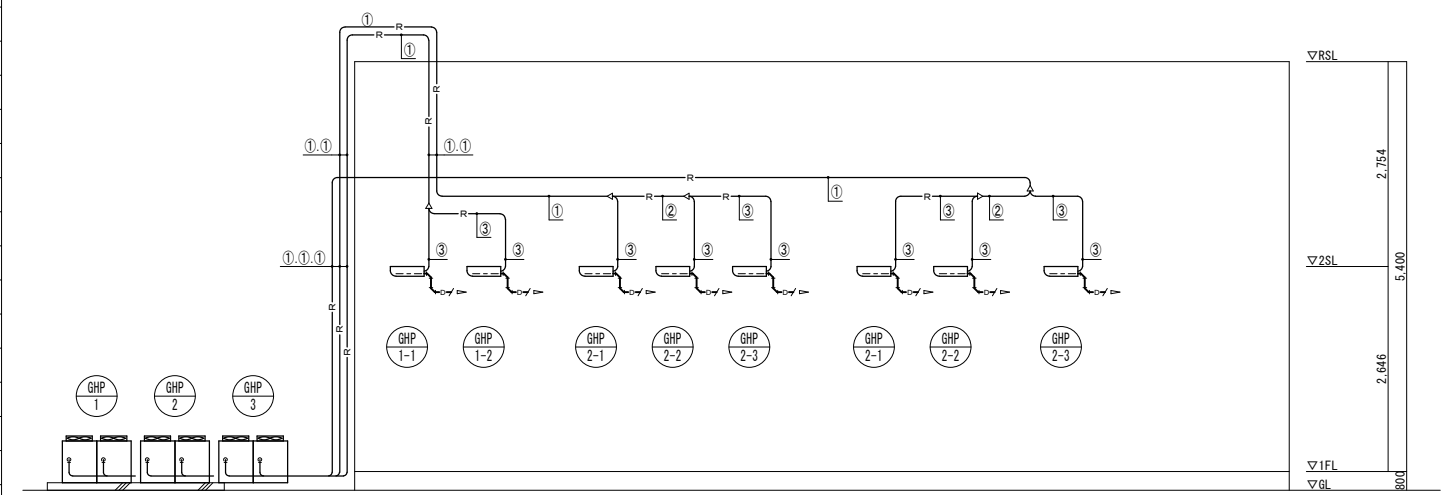
(注) 記載事項の適用について
●印のものを適用し、○印のものは適用しない。

●ガスヒートポンプマルチエアコン

記号	夏季条件	形式	冷媒種別	冷房能力 kW	暖房能力 kW	COP	APF	風量 m ³ /min	機外静圧 Pa	質量 (kg)	電気仕様		電力消費量 (冷房/暖房) kW	ガス消費量 (冷房/暖房) kW	台数	設置場所	備考	
											圧縮機	送風機						
GHP-1	16時	屋外機 P 560 冷暖切替運転形 ●臭気低減 ●自立発電型 ●切替スイッチ	R410A	56.0	63.0	2.00	-	-	-	-	1	200	0.75*2	1.33 / 1.19	46.1 / 42.7	1	地上	
		ガス種: LPG ●電源切替盤 自立運転時		45.0	50.0								0.13 / 0.13	49.2 / 45.6				
GHP-1-1		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-1-2		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-2	16時	屋外機 P 560 冷暖切替運転形 ●臭気低減 ●自立発電型 ●切替スイッチ	R410A	56.0	63.0	2.00	-	-	-	-	1	200	0.75*2	1.33 / 1.19	46.1 / 42.7	1	地上	
		ガス種: LPG ●電源切替盤 自立運転時		45.0	50.0								0.13 / 0.13	49.2 / 45.6				
GHP-2-1		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-2-2		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-2-3		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-3	16時	屋外機 P 560 冷暖切替運転形 ●臭気低減 ●自立発電型 ●切替スイッチ	R410A	56.0	63.0	2.00	-	-	-	-	1	200	0.75*2	1.33 / 1.19	46.1 / 42.7	1	地上	
		ガス種: LPG ●電源切替盤 自立運転時		45.0	50.0								0.13 / 0.13	49.2 / 45.6				
GHP-3-1		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-3-2		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
GHP-3-3		室内機 P 160 天吊形 ○ドレヅツ ○化粧ナシ		16.0	18.0			28	PRE	-	1	200	0.111	0.110/0.110		1	1F アリーナ	
		集中リモコン		液晶式 スケジュールタイマー ON/OFF各種設定機能											1	1F 校舎棟 職員室		
		リモコンスイッチ													3	1F アリーナ		

- 共通事項
- 1) 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
 - 2) 電源周波数は50Hzとする。
 - 3) 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。(R410A, R32)
 - 4) 屋外機据付用コンクリート基礎は建築工事とする。
 - 5) 冷房能力および暖房能力は、JIS条件時の能力とする。
 - 6) マルチ型の室内機には分岐管を付属とする。
 - 7) 室内機には防振ゴム及び防球ガードを付属する。(別図参照)
 - 8) リモコンは鍵付き銅板製ボックス内に設置すること。(予備品鍵数100%)
 - 9) 電源切替盤にはダウントランス内蔵のこと。

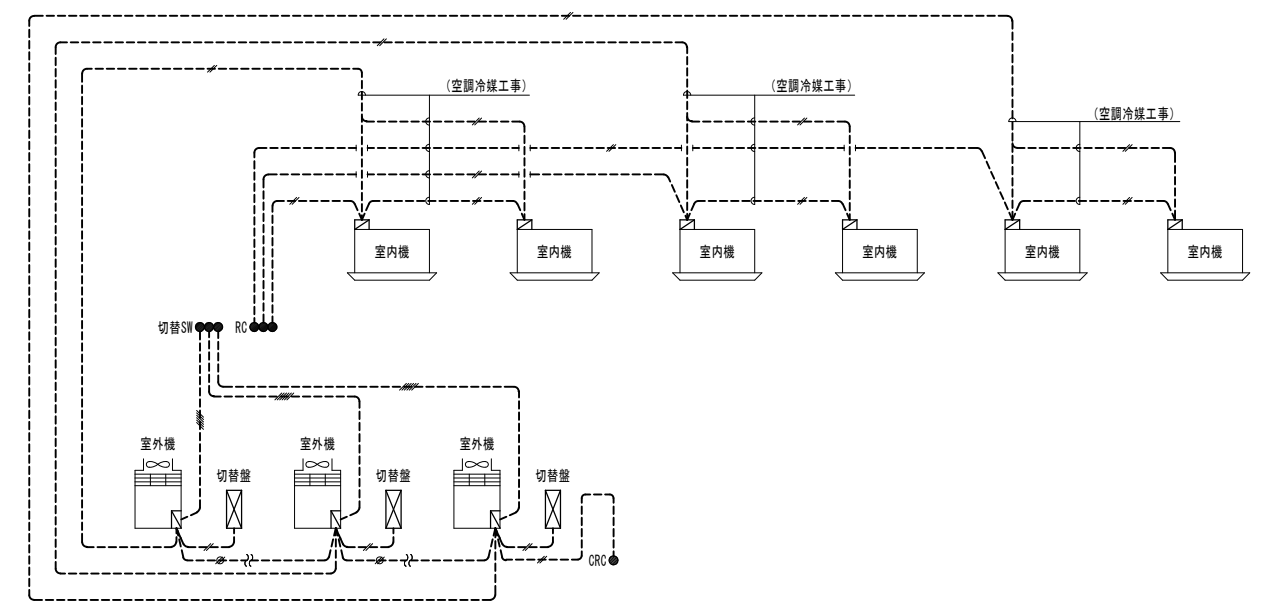
系統図



配管系統図

冷媒用保温付被覆銅管

	ガス	液	信号線・電源線
①	28.58 φ	15.88 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
②	22.2 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
③	15.88 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C



計装配線系統図

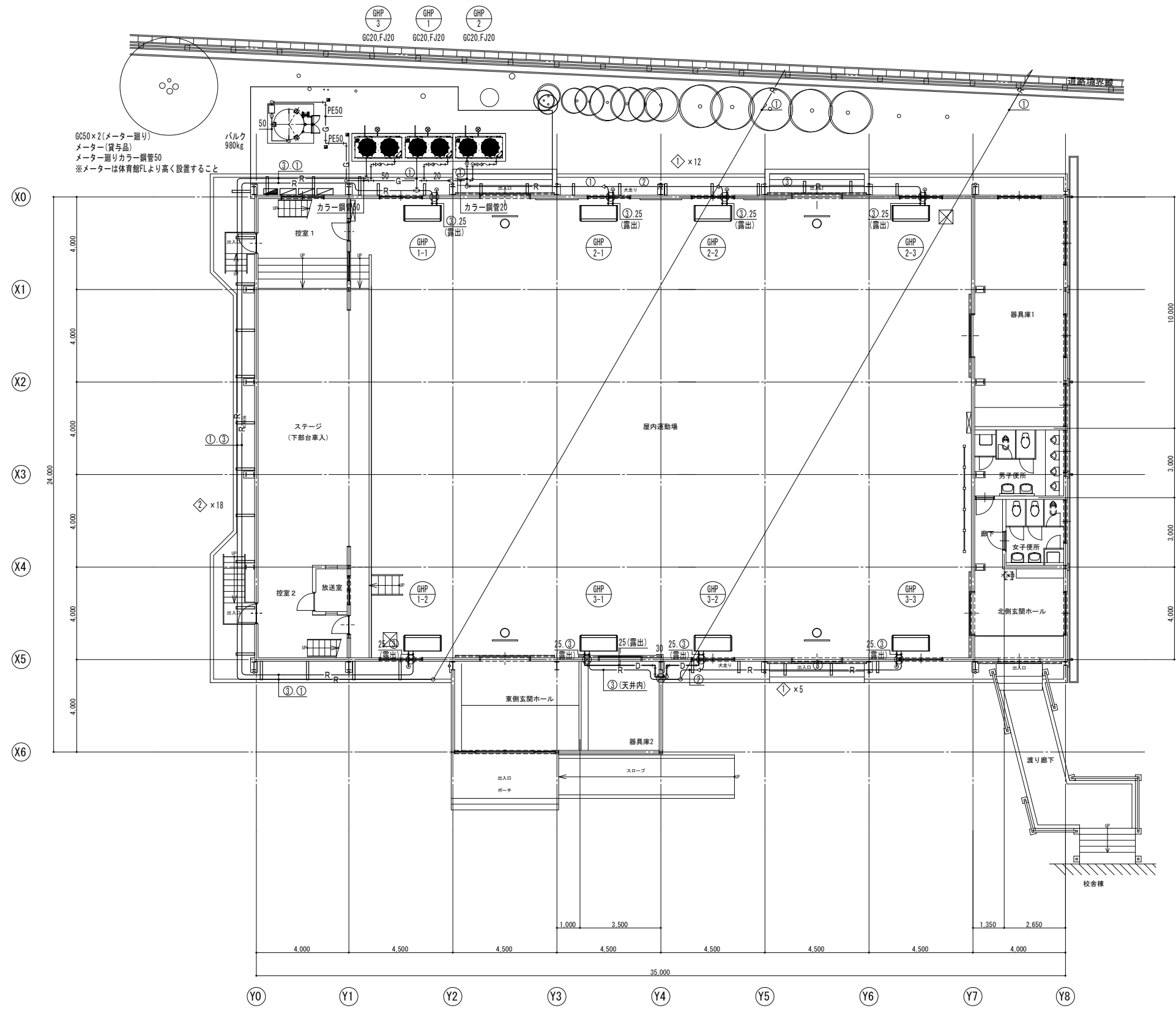
制御内容

- (注記)
1. 室内・外機渡り工事配線及び電源線CE3.5-4Cは冷媒管付帯工事とする。
 2. RCはメーカー標準品とする。

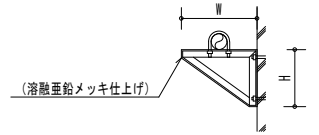
凡例

- : AC 200V 又は 100V 電源線を示す。
- : シールドケーブルを示す。// は芯数を示す。
- ☑ : 空調設備機側盤を示す。

記号	機器名称	備考
RC ●	個別リモコン	設備機器附属品
切替SW ●	停電切替スイッチ	設備機器附属品
CRC ●	集中コントローラー	



6050x2 (メーター通り)
メーター (貨品)
メーター通りカラー鋼管50
※メーターは体育館FLより高く設置すること



配管支持金物リスト

記号	W	H	個数	仕様
①	500	300	17	L40-40-3 t
②	800	300	18	L40-40-5 t
③	1100	300		L40-40-6 t

※支持間隔は2mとする。

配管支持金物 NS

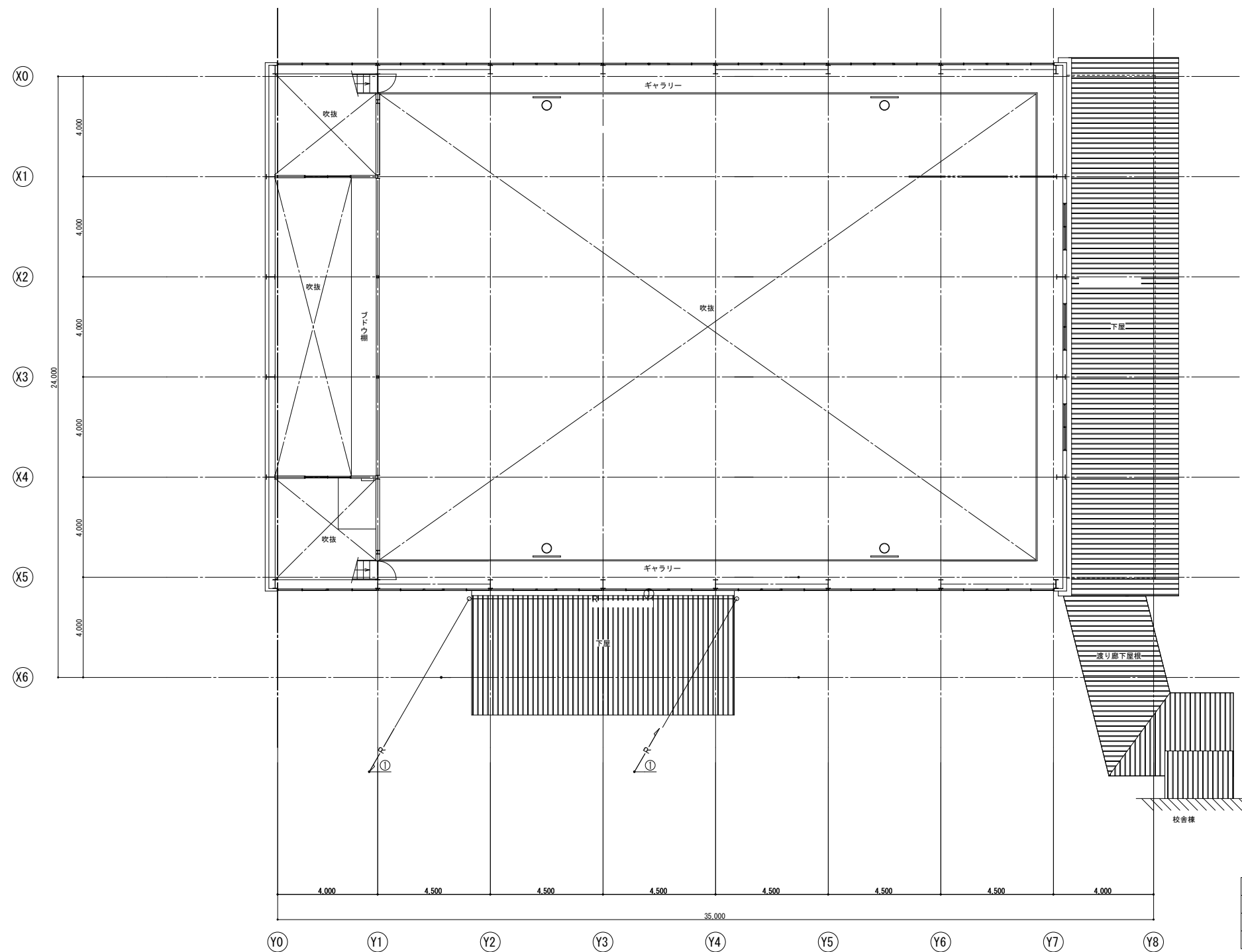
冷媒用保温付被覆鋼管

	ガス	液	信号線・電源線
①	28.58 φ	15.88 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
②	22.2 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
③	15.88 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C

- ◆ 特記事項
- 記載無きドレン管サイズは25Aとする
 - 記載無き冷媒管は屋外露出配管とする
 - 屋外機ドレンホースは浸透桝200φ×600Hに接続のこと
 - 屋内機ドレン立管にはVP用トラップを設けること
- ◆ 凡例
- 壁コア抜きを示す
 - ⊗ 壁貫通処理を示す
 - 地中埋設機を示す

1階平面図 S=1:100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦博	○	○	○	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	空調設備 1階平面図	M-05



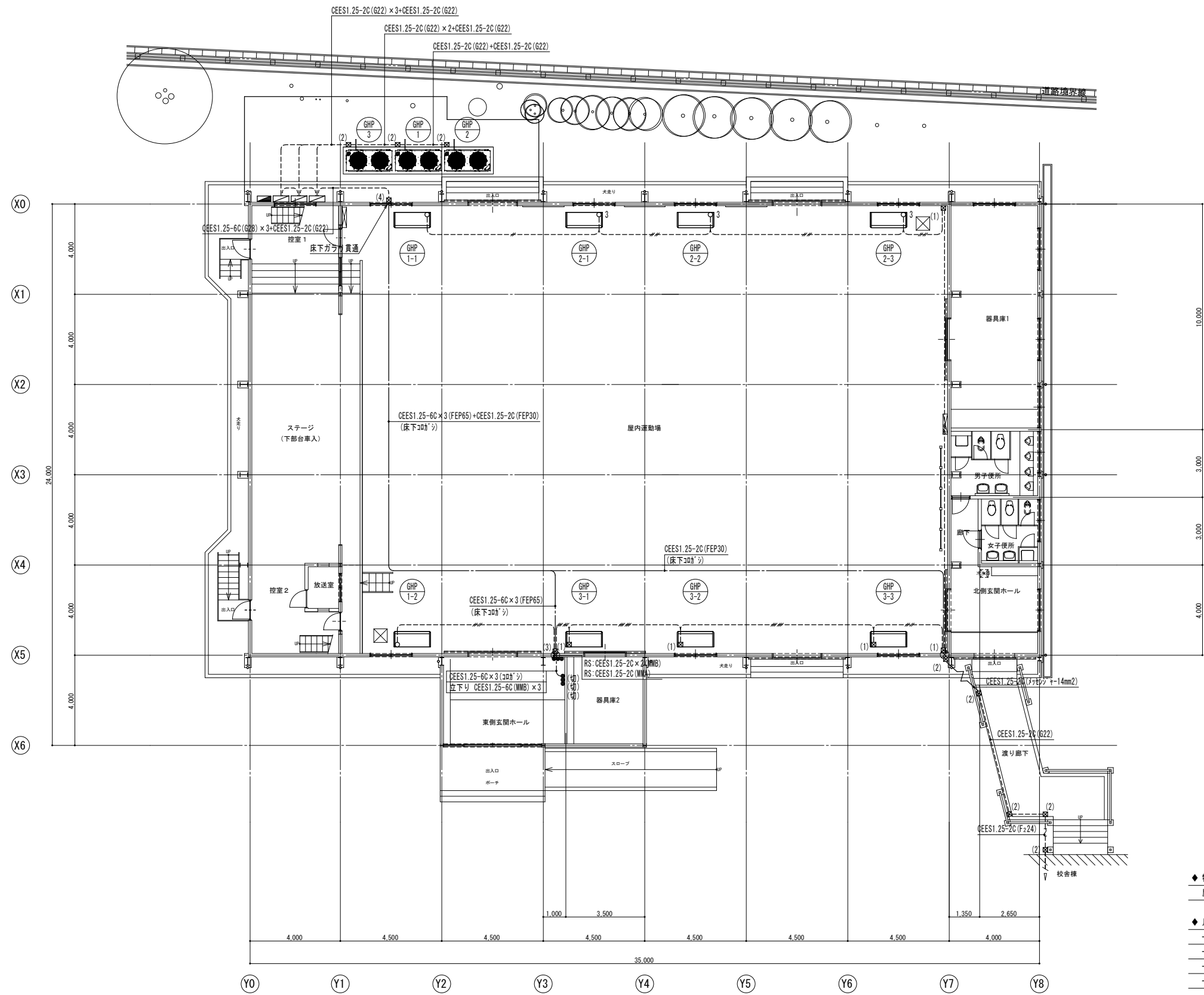
2階平面図 S=1:100

冷媒用保温付被覆銅管

	ガス	液	信号線・電源線
①	28.58 φ	15.88 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
②	22.2 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C
③	15.88 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C+CE3.5-3C

- ◆ 特記事項
- 配管無きドレン管サイズは25Aとする
 - 配管無き冷媒管は屋外露出配管とする
 - 屋外機ドレンホースは浸透桝200φ×600Hに接続のこと
 - 屋内機ドレン立管にはVP用トラップを設けること
- ◆ 凡例
- ⊗ 壁コア抜きを示す
 - ⊗ 壁貫通処理を示す

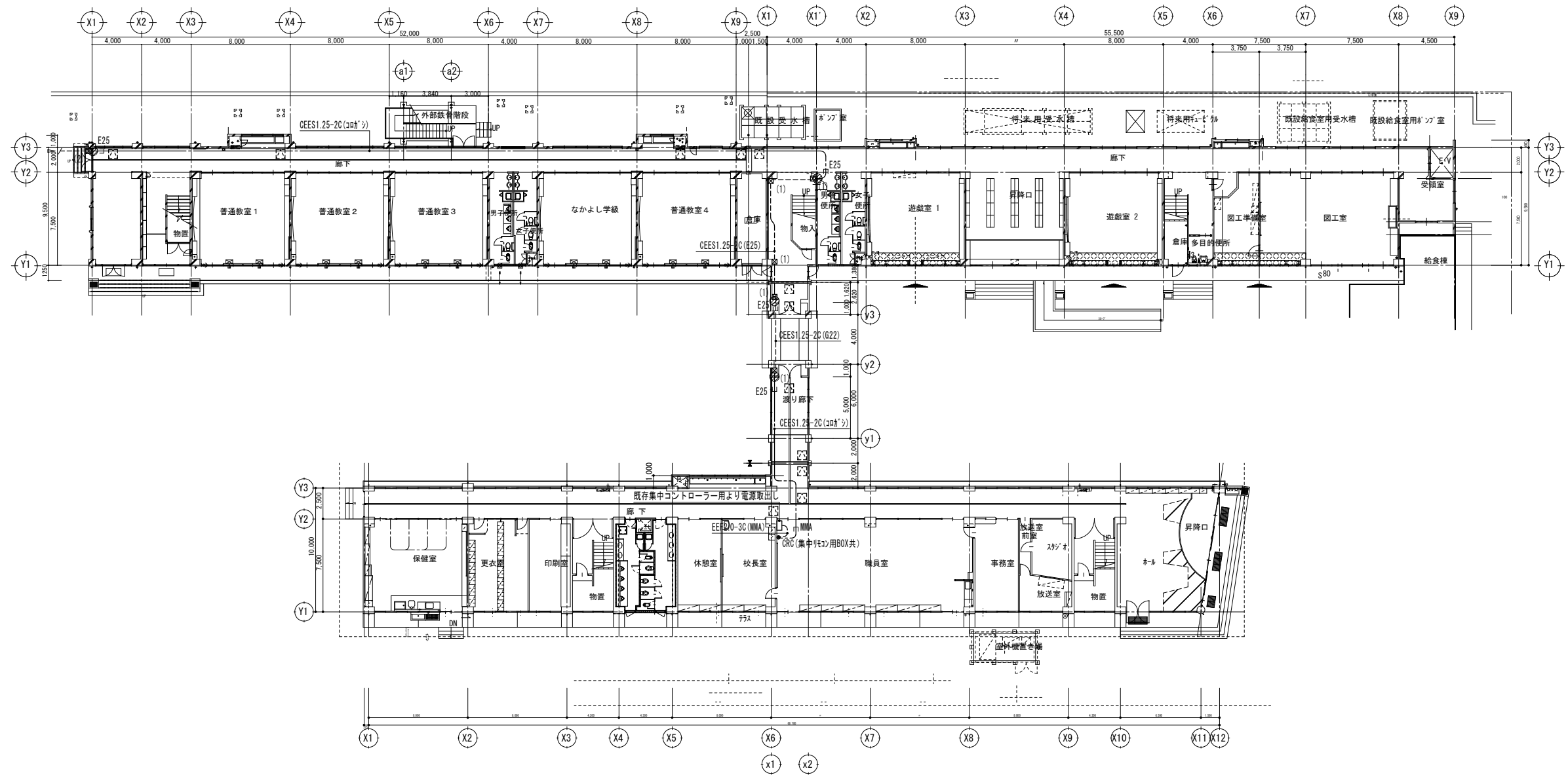
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男				A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	空調設備 2階平面図	M-06



1階平面図 S=1:100

- ◆ 特記事項
屋外機接続部は可とう電線管にて接続のこと
- ◆ 凡例
- CEES1.25-20(G22)
 - CEES1.25-20(E19塗装)
 - CEES1.25-20*2(E25塗装)
 - CEES1.25-20*3(E31塗装)
 - CEES1.25-20*4(E51塗装)
 - 金属製可とう電線管(F:24)
 - Vエンズケチ×4個(銅製露出BOX 継付)
 - (切) 切替スイッチ盤(1-1付属品)(設置高さ天井下)
 - 3 露出ボックス 3方出
 - ☒(1) PB200×200×200
 - ☒(2) PB200×200×200(SUSWP)
 - ☒(3) PB300×300×200
 - ☒(4) PB300×300×300(SUSWP)
 - ⊗ 壁コア抜きを示す
 - ⊗ 壁貫通処理を示す

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第33328号 木村邦博	☒	☒	☒	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	計装設備 1階平面図	M-07

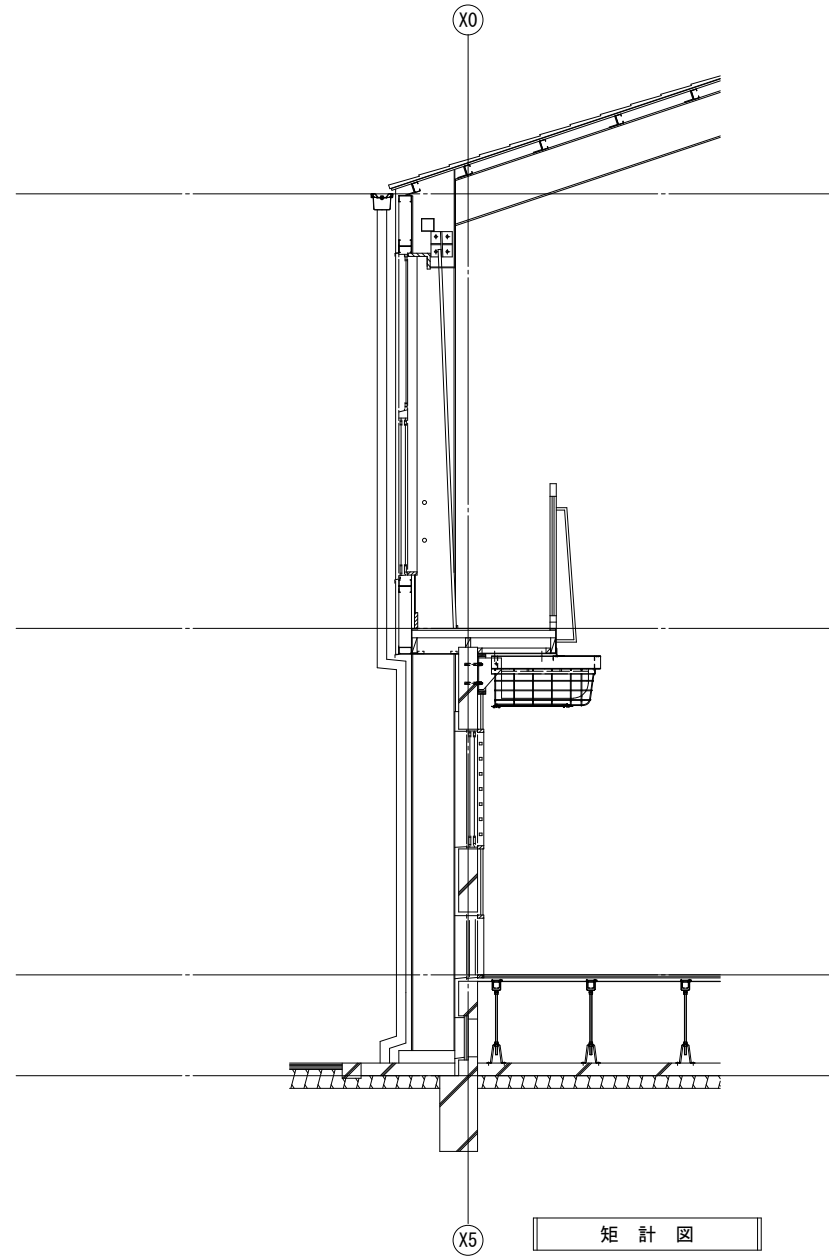


1 階平面図 S=1:200

- ◆ 凡例
- CEES1.25-20 (α0β¹)
 - CEES1.25-20 (G22)
 - CEES1.25-20 (E19塗装)
 - CEES1.25-20*2 (E25塗装)
 - CEES1.25-20*3 (E31塗装)
 - CEES1.25-20*4 (E51塗装)
 - 金属製可とう電線管 (Fz:24)
 - CRC 集中コントローラ
 - ☒ (1) PB200×200×200
 - ☒ (2) PB200×200×200 (SUSWP)
 - ☒ 既存天井点検口
 - ☒ 新設天井点検口 450×450
 - ⊗ 壁コア抜きを示す
 - ⊗ 壁貫通処理を示す

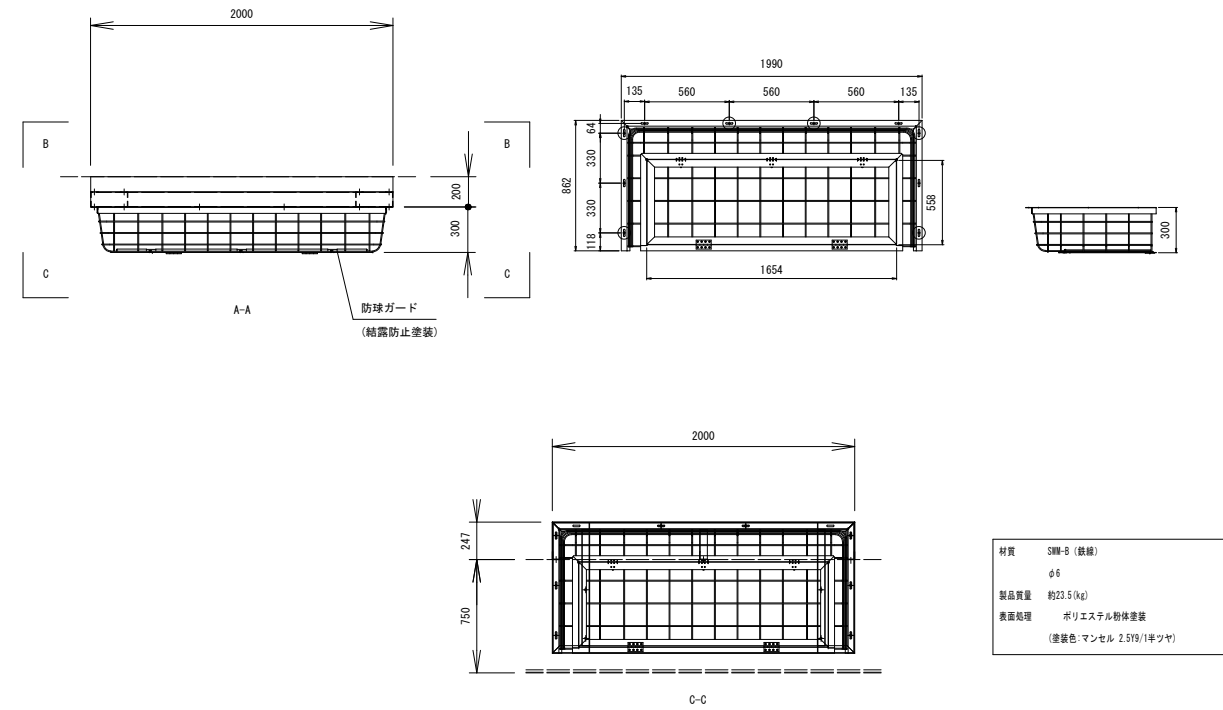
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦彦	☒	☒	☒	A1:S=1/200 A3:S=1/400	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	校舎棟 計装設備 1階平面図	M-08

矩計図

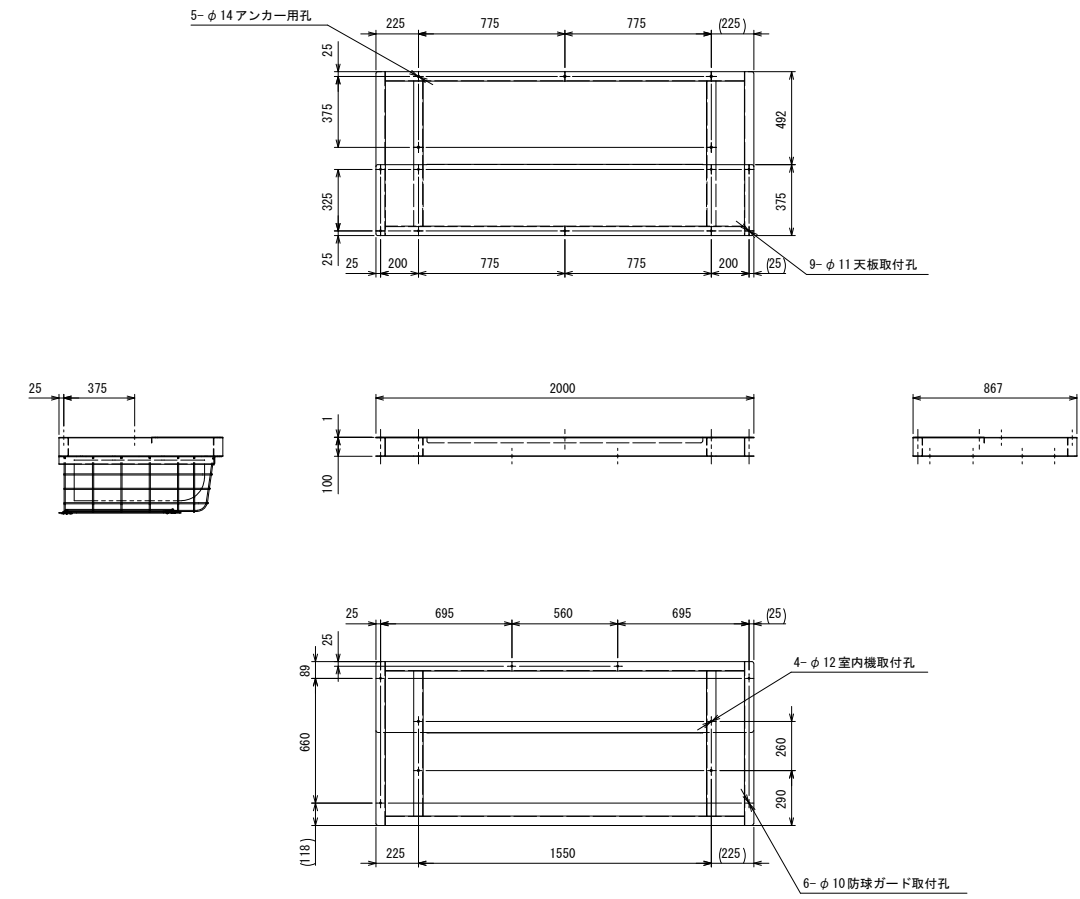


矩計図

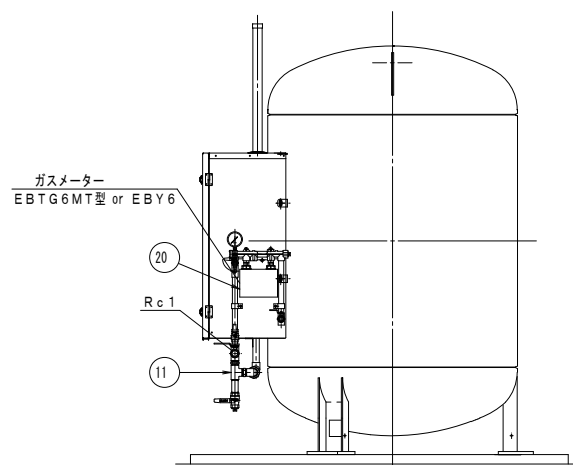
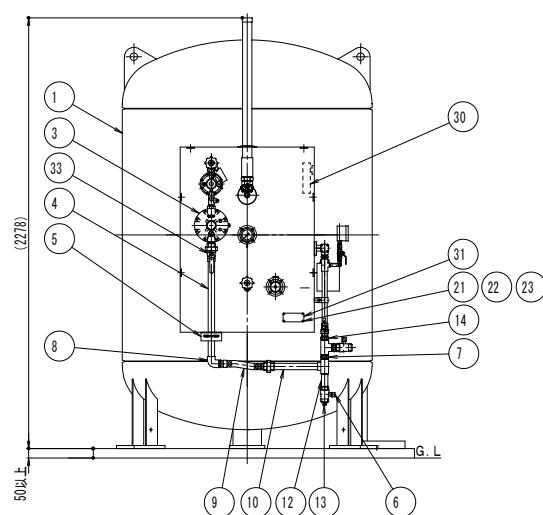
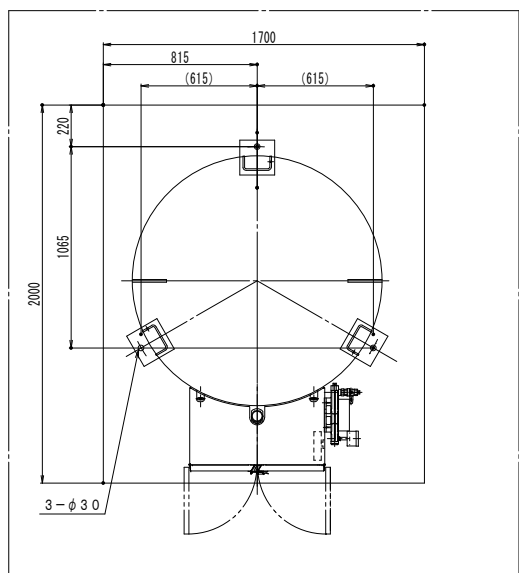
防球ガード 外形図 (8台)



防球ガード架台参考図



仕様	
材質	SS400相当
主部材	[-100×50×2.3t
製品質量	①: 約34(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装
付属品	
室内機取付ボルト W10×50L (2N,1W)	SUS304 5組
防球ガード取付ボルト M8×25 (2N, 2W)	SUS304 7組
天板取付ボルト M8×25 (2N, 2W)	SUS304 10組



※貯槽型式

貯槽型式	使用する液面計
KT-980T	フロート式液面計
KT-980TR	超音波式液面計

33	ユニオン式ボールバルブ	1	C3771B他	BV-25U
32				
31	銘板	1	A1100P	
30	ガス漏れ検知器	1		XH-611EB
29				
28				
27				
26				
25				
24				
23	平座金	4	SUS304	JIS 4 並形
22	六角ナット	4	SUS304	JIS M4 1種
21	十字穴付きなべ小ねじ	4	SUS304	JIS M4×10
20	ガスメーターユニット	1		EBS-UNIT-J-01
19				EBS-BOX-J-02
18				
17				
16				
15				
14				
13	プラグ	1	FCMB	25A
12	ロングニップル	1	SGP	25A L=100
11	ティ	2	FCMB	25A
10	ロングニップル	1	SGP	25A L=260
9	低圧フレキ管	1	SUS304他	BR-7 (25A-300)
8	エルボ	2	FCMB	25A
7	六角ニップル	3	FCMB	25A
6	ボールバルブ	2	C3771B他	GT (25A)
5	架台A	1	SUS304	BR-2-1
4	パイプセット	1	SGP他	25A L=535 Uボルト付 5/16×1
3	二段式一体型調整器	1	ADC12他	BRV-30A
2				
1	バルク貯槽	1	SA516-70他	※
番号	部 品 名	数量	材 質	備 考

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 備考. Contains sections for 6 改質アスファルトシート防水, 7 合成高分子系ルーフィングシート防水, 8 塗膜防水, and 9 シーリング. Includes detailed specifications for waterproofing materials and methods.

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 備考. Contains sections for 9 シーリング, 10 とい, 11 アルミニウム製笠木, and 12 防水工事施工. Includes specifications for caulking and waterproofing construction.

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 備考. Contains sections for 4-2 モルタル塗り仕上げ外壁, 4-3 タイル張り仕上げ外壁, and 4-4 塗り仕上げ外壁等. Includes specifications for exterior wall treatments.

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 備考. Contains sections for 5 浮き部改修工法, 6 目地改修工法, and 7 マスチック塗材塗り. Includes specifications for repair and finishing work.

Table with 5 main columns representing different construction components and their specifications. Column 1: Component Name (e.g., 5 改修工法). Column 2: Material/Specification (e.g., 性能値等, 耐風圧性等). Column 3: Material/Specification (e.g., 性能値等, 耐風圧性等). Column 4: Material/Specification (e.g., 性能値等, 耐風圧性等). Column 5: Material/Specification (e.g., 性能値等, 耐風圧性等).

Table with 6 main columns representing renovation and construction details. Column 1: Item No. (e.g., ① 改修範囲). Column 2: Item Name (e.g., 改修範囲). Column 3: Description/Specification (e.g., 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合合う天井、壁及び床の改修範囲). Column 4: Material/Specification (e.g., 性能値等). Column 5: Material/Specification (e.g., 性能値等).

Project Summary Table containing: 概要 (Summary), 設計年月日 (Design Date), 株式会社金子設計 (Project Name), 設計 (Design), 製図 (Drawing), 縮尺 (Scale), 工事名称 (Project Name), 図名 (Drawing Name), 図面番号 (Drawing No.).

Project Summary Table containing: 概要 (Summary), 設計 (Design), 製図 (Drawing), 縮尺 (Scale), 工事名称 (Project Name), 図名 (Drawing Name), 図面番号 (Drawing No.).

Table with 4 columns: ⑧合板等, ⑨接合具等, ⑩接着剤, ⑪防蟻・防蟻処理, ⑫内部間仕切組及び床組み, ⑬窓、出入口その他, ⑭軽量鉄骨天井下地. Includes detailed specifications for various construction materials and methods.

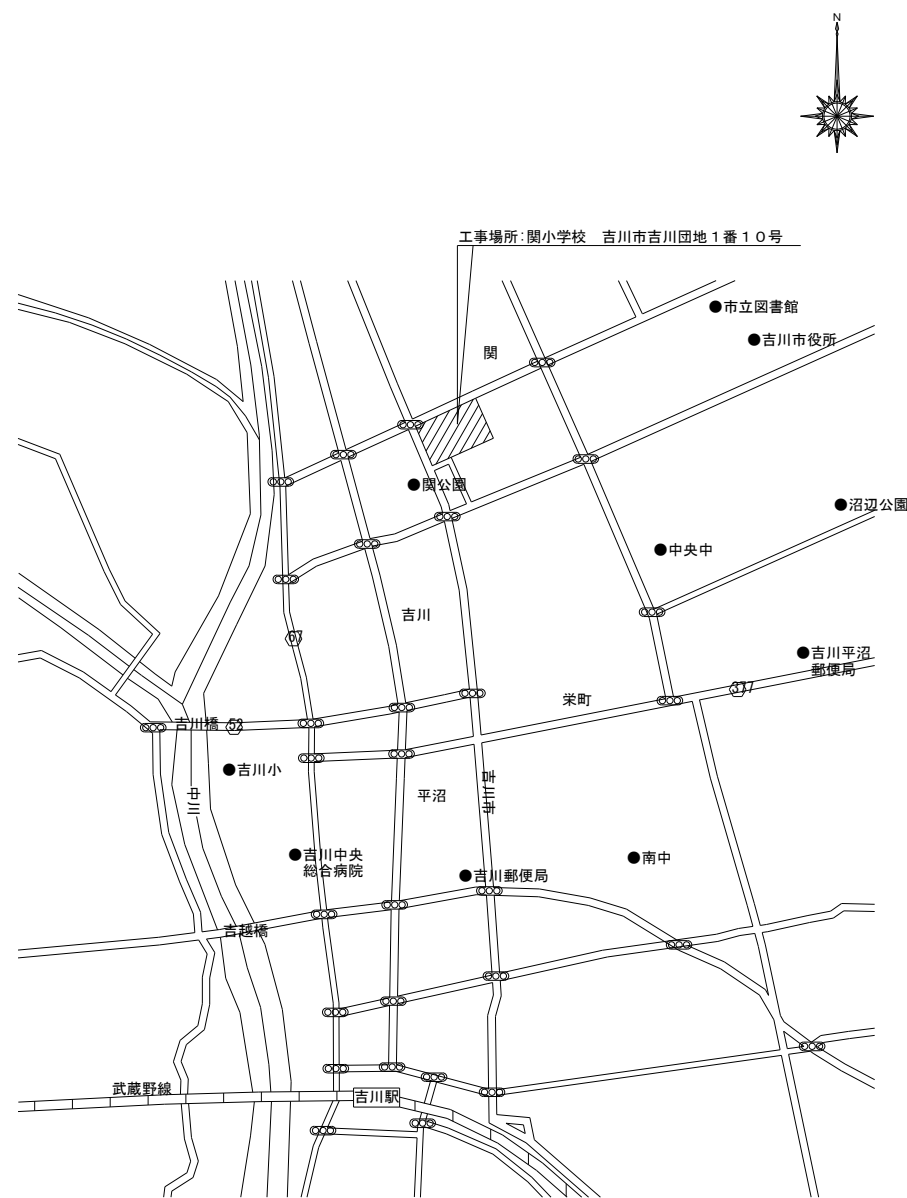
Table with 4 columns: 15 軽量鉄骨壁下地, 16 ビニル床シート, 17 ビニル床タイル, 18 特殊機能床材, 19 ビニル幅木, 20 ゴム床タイル, 21 カーペット敷き, 22 合成樹脂塗床, 23 フローリング張り. Includes detailed specifications for flooring materials and installation methods.

Table with 4 columns: 24 畳敷き, 25 せっこうボード, 26 壁紙張り. Includes detailed specifications for tatami, gypsum board, and wallpaper.

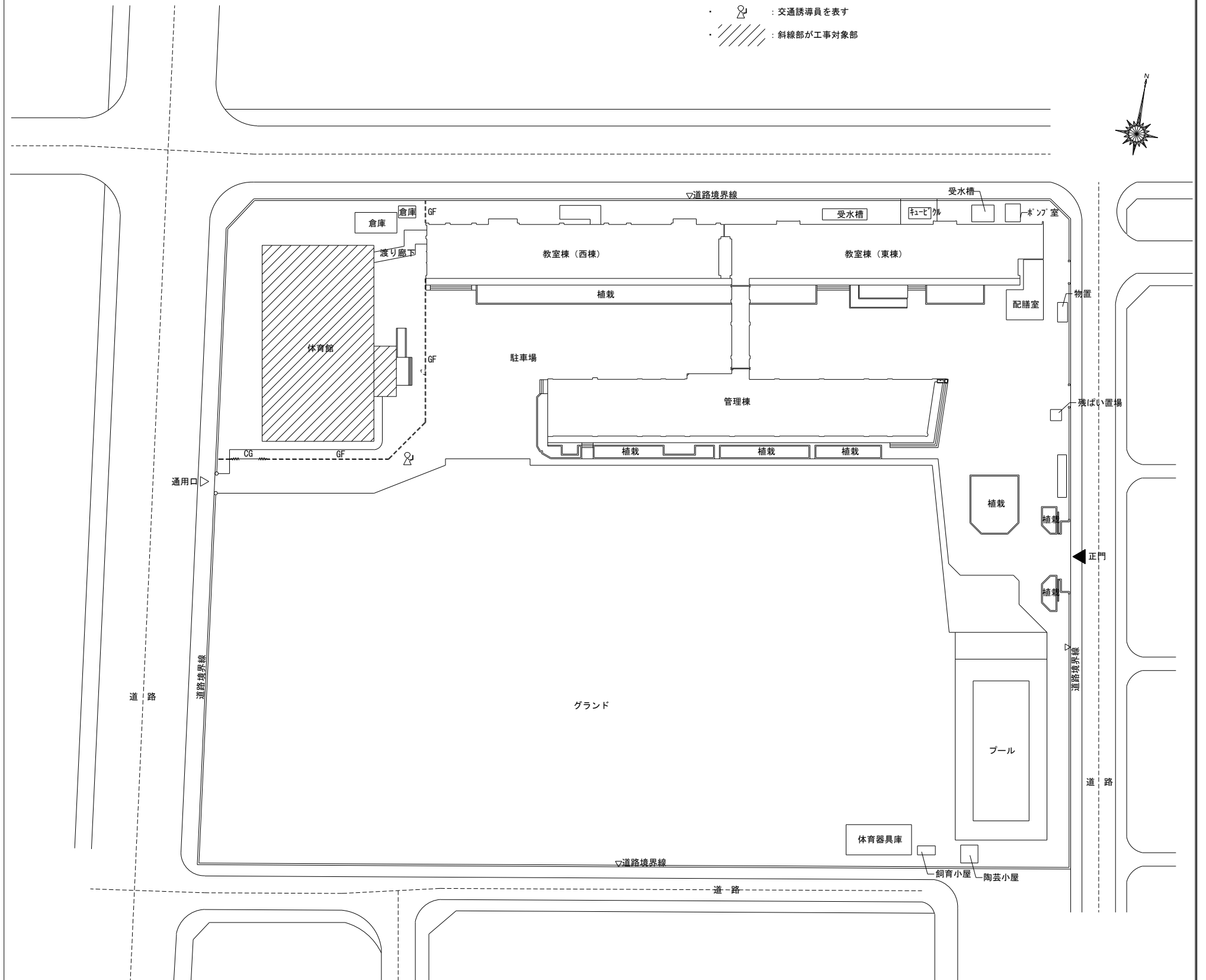
Table with 4 columns: 27 モルタル塗り, 28 タイル張り, 29 セルフレベリング材塗り, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, 33 トイレブース, 34 手すり. Includes detailed specifications for plaster, tiles, leveling materials, access floors, movable partitions, moving partitions, toilet booths, and handrails.

<p>35 階段滑り止め</p> <p>36 黒板及びホワイトボード</p> <p>37 表示</p> <p>38 タラップ</p> <p>39 ブラインド</p> <p>40 ロールスクリーン</p> <p>41 カーテン</p> <p>42 カーテンレール</p> <p>43 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>44 天井点検口</p> <p>45 床点検口</p> <p>46 くつふきマット</p> <p>47 流し台ユニット</p> <p>48 鋼製書架及び物品棚</p>	<p>49 屋内掲示板</p> <p>50 洗面カウンター</p> <p>51 防煙垂れ壁</p> <p>52 収納家具</p> <p>7 塗装改修工事</p> <p>① 材料</p> <p>② 下地調整</p> <p>③ 素地ごしらえ</p> <p>④ 錆止め塗料塗り</p> <p>⑤ 塗装</p>	<p>8 耐震改修工事</p> <p>9 環境配慮改修工事</p> <p>10 石綿粉じん濃度測定</p> <p>11 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>12 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>13 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>14 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>15 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>16 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>17 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>18 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>19 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>20 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>21 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>22 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>23 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>24 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>25 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>26 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>27 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>28 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>29 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>30 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>31 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>32 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>33 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>34 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>35 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>36 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>37 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>38 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>39 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>40 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>41 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>42 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>43 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>44 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>45 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>46 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>47 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>48 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>49 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>50 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>51 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>52 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>53 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>54 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>55 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>56 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>57 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>58 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>59 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>60 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>61 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>62 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>63 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>64 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>65 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>66 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>67 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>68 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>69 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>70 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>71 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>72 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>73 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>74 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>75 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>76 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>77 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>78 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>79 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>80 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>81 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>82 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>83 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>84 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>85 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>86 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>87 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>88 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>89 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>90 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>91 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>92 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>93 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>94 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>95 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>96 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>97 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>98 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>99 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>100 石綿含有吹付け材の除去</p>	<p>8 断熱・防露改修工事</p> <p>9 屋上緑化改修工事</p> <p>10 透水性アスファルト舗装改修工事</p> <p>11 舗装版切断時</p> <p>12 舗装版切断時</p> <p>13 舗装版切断時</p> <p>14 舗装版切断時</p> <p>15 舗装版切断時</p> <p>16 舗装版切断時</p> <p>17 舗装版切断時</p> <p>18 舗装版切断時</p> <p>19 舗装版切断時</p> <p>20 舗装版切断時</p> <p>21 舗装版切断時</p> <p>22 舗装版切断時</p> <p>23 舗装版切断時</p> <p>24 舗装版切断時</p> <p>25 舗装版切断時</p> <p>26 舗装版切断時</p> <p>27 舗装版切断時</p> <p>28 舗装版切断時</p> <p>29 舗装版切断時</p> <p>30 舗装版切断時</p> <p>31 舗装版切断時</p> <p>32 舗装版切断時</p> <p>33 舗装版切断時</p> <p>34 舗装版切断時</p> <p>35 舗装版切断時</p> <p>36 舗装版切断時</p> <p>37 舗装版切断時</p> <p>38 舗装版切断時</p> <p>39 舗装版切断時</p> <p>40 舗装版切断時</p> <p>41 舗装版切断時</p> <p>42 舗装版切断時</p> <p>43 舗装版切断時</p> <p>44 舗装版切断時</p> <p>45 舗装版切断時</p> <p>46 舗装版切断時</p> <p>47 舗装版切断時</p> <p>48 舗装版切断時</p> <p>49 舗装版切断時</p> <p>50 舗装版切断時</p> <p>51 舗装版切断時</p> <p>52 舗装版切断時</p> <p>53 舗装版切断時</p> <p>54 舗装版切断時</p> <p>55 舗装版切断時</p> <p>56 舗装版切断時</p> <p>57 舗装版切断時</p> <p>58 舗装版切断時</p> <p>59 舗装版切断時</p> <p>60 舗装版切断時</p> <p>61 舗装版切断時</p> <p>62 舗装版切断時</p> <p>63 舗装版切断時</p> <p>64 舗装版切断時</p> <p>65 舗装版切断時</p> <p>66 舗装版切断時</p> <p>67 舗装版切断時</p> <p>68 舗装版切断時</p> <p>69 舗装版切断時</p> <p>70 舗装版切断時</p> <p>71 舗装版切断時</p> <p>72 舗装版切断時</p> <p>73 舗装版切断時</p> <p>74 舗装版切断時</p> <p>75 舗装版切断時</p> <p>76 舗装版切断時</p> <p>77 舗装版切断時</p> <p>78 舗装版切断時</p> <p>79 舗装版切断時</p> <p>80 舗装版切断時</p> <p>81 舗装版切断時</p> <p>82 舗装版切断時</p> <p>83 舗装版切断時</p> <p>84 舗装版切断時</p> <p>85 舗装版切断時</p> <p>86 舗装版切断時</p> <p>87 舗装版切断時</p> <p>88 舗装版切断時</p> <p>89 舗装版切断時</p> <p>90 舗装版切断時</p> <p>91 舗装版切断時</p> <p>92 舗装版切断時</p> <p>93 舗装版切断時</p> <p>94 舗装版切断時</p> <p>95 舗装版切断時</p> <p>96 舗装版切断時</p> <p>97 舗装版切断時</p> <p>98 舗装版切断時</p> <p>99 舗装版切断時</p> <p>100 舗装版切断時</p>
---	---	--	---

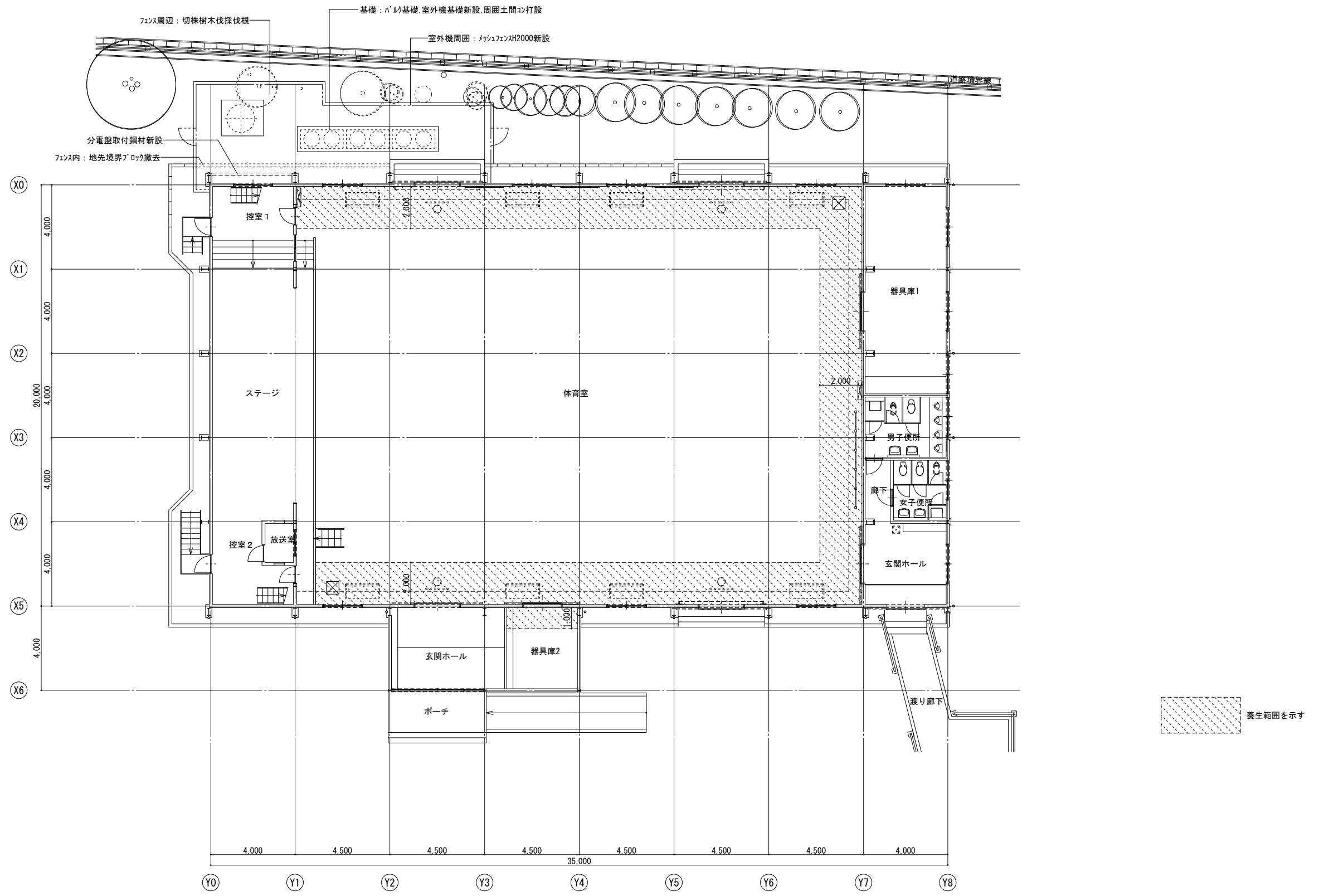
10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ○溶接金網 6φ-100x100 土間、基礎周囲 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ○重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・図示による()		施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート 適用期間(11月21日~3月10日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を構築温度を基に定める場合 ・図示による()、S=(6) 12 暑中コンクリート 適用期間(7月15日~9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による()、S=(6) 13 マスコンクリート 適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による スランプ ・※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による 14 無筋コンクリート コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、T/M法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	
	2 溶接金網					
	③ 鉄筋の継手					
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による() 機械式定着工法 適用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接接合 ・鋼合グラウト固定 ・鋼合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。	11 コンクリート工事 ① コンクリートの種類等 (6.2.1) ※I類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 気乾単位容積 スランプ 適用箇所 (N/mm ²) (t/m ³) 24 2.3程度 15又は18・18 21 2.3程度 15又は18・18 基礎、土間 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による 補正值S=3(3月11日~7月14日、9月6日~11月20日) S=6(7月15日~9月5日、11月21日~3月10日) ② セメント 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 ・適用箇所(1FLより下部(立上り部を含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所() ③ 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 ①混和剤の種類 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 5 打撃の位置、ひび割れ誘発目地、打撃目地 (6.6.4) 打撃の位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) 標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打撃目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ・C種 ※図示による() コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による() 8 打増し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による() ⑨ 型枠 せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ・合板(※12mm)) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材種・規格等 ・図示による() 9 貯留期間及び取外し (6.8.4) 貯留期間及び取外し ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による()) 10 軽量コンクリート 適用箇所 (6.10.1、2) ・図示による() 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書表6.10.1による スランプ ※21cm			
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上に確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm				
	⑥ 各部配筋	※図示による (5.3.7)				
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(f)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(f)(b)による				
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置				
	9 溶接継手	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()				



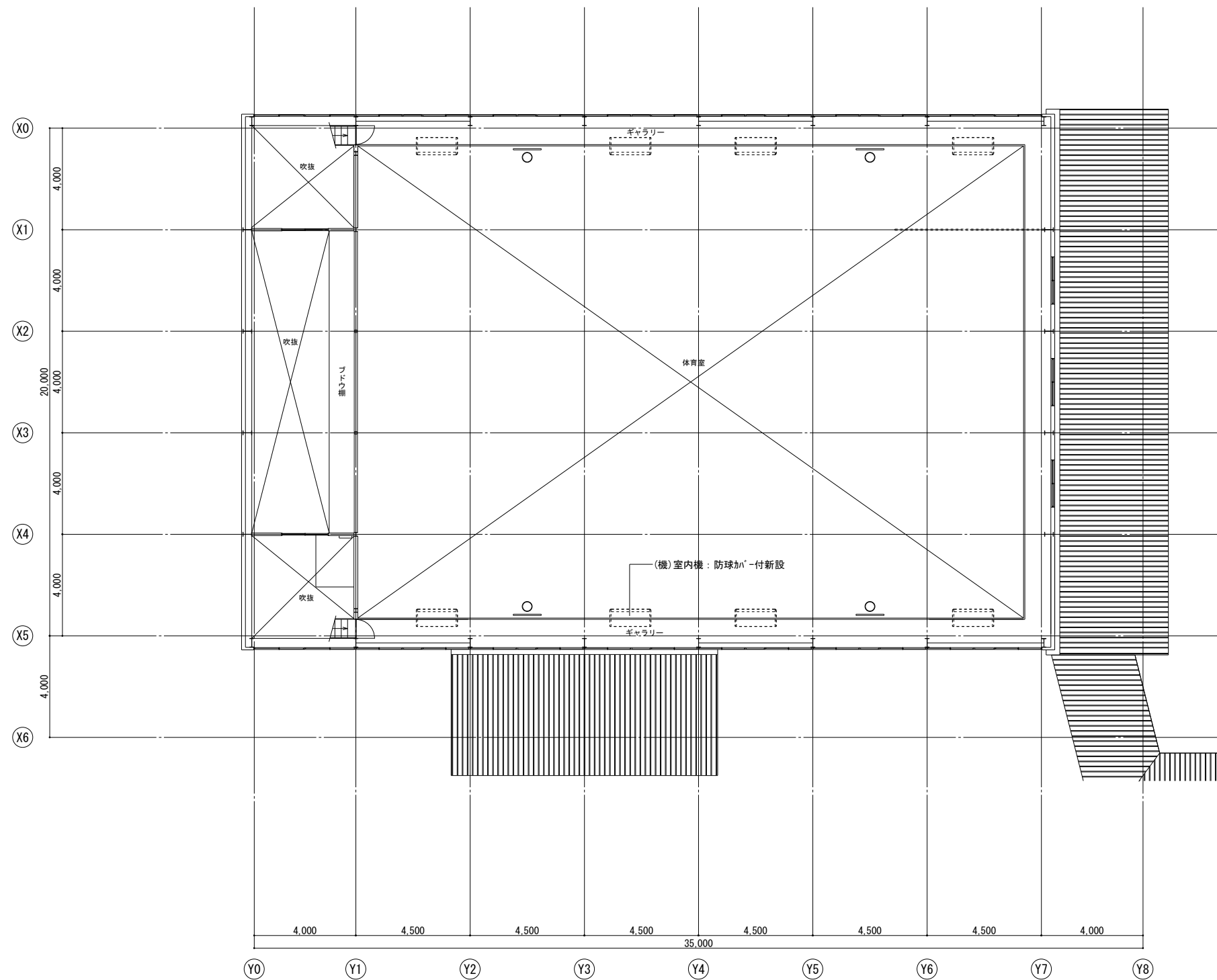
- 凡例**
- GF --- : ガ-ド' 7x1.8mを表す
 - CG - : キ+ス+ゲ'-W6.0xH2.0を表す
 - ▨ : 手摺先行型枠組足場900x1700を表す
初状養生シート貼
 - : 仮設鉄板敷 t22を表す
 - ⏏ : 交通誘導員を表す
 - / / : 斜線部が工事対象部



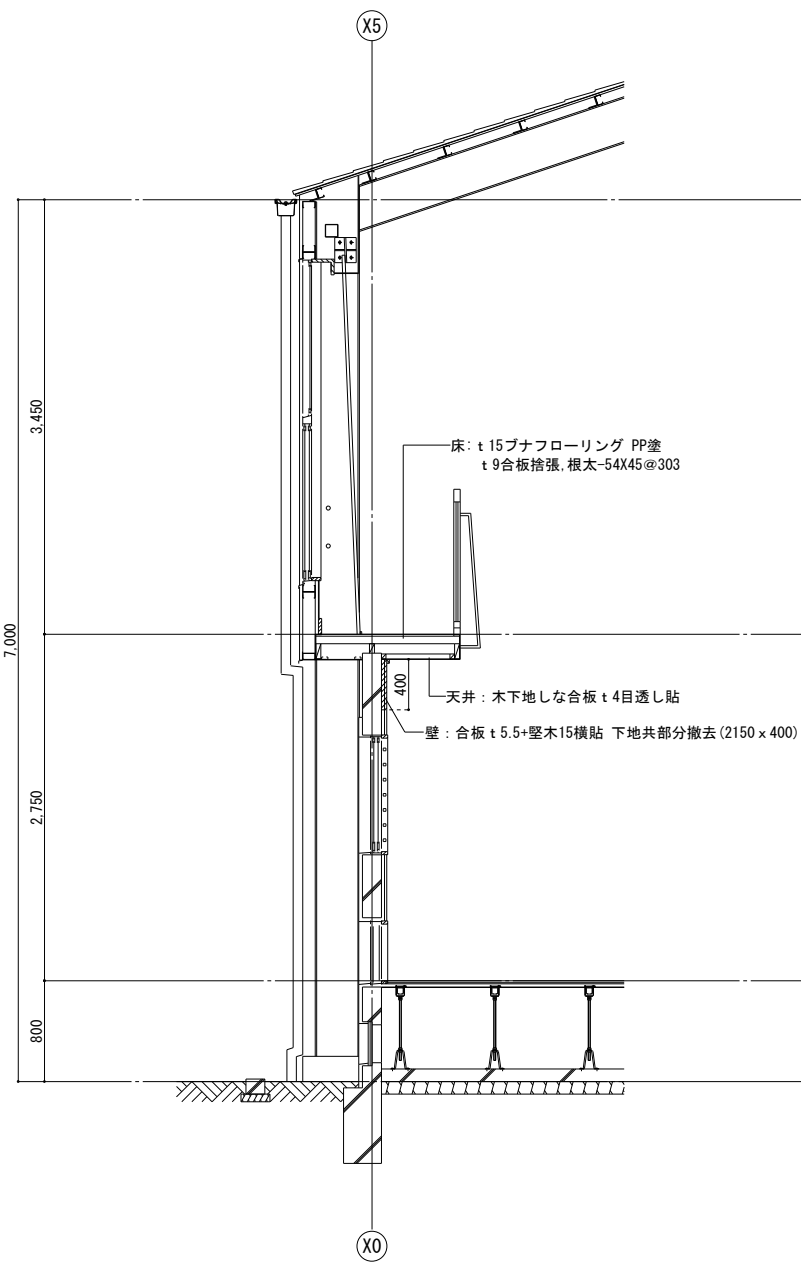
摘要		設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	村	景	雲	A1:S=1/400 A3:S=1/800	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	案内図、配置図兼参考仮設計画図	A-07



概要 ※施工後は屋内運動場すべて床清掃を行うこと	設計年月日	株式会社金子設計 <small>事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男</small>	総括 	設計 	製図 	縮尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200	工事名称 小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	図名 1階平面図	図面番号 A-08
-----------------------------	-------	--	--------	--------	--------	--------------------------------	-------------------------------	-------------	--------------

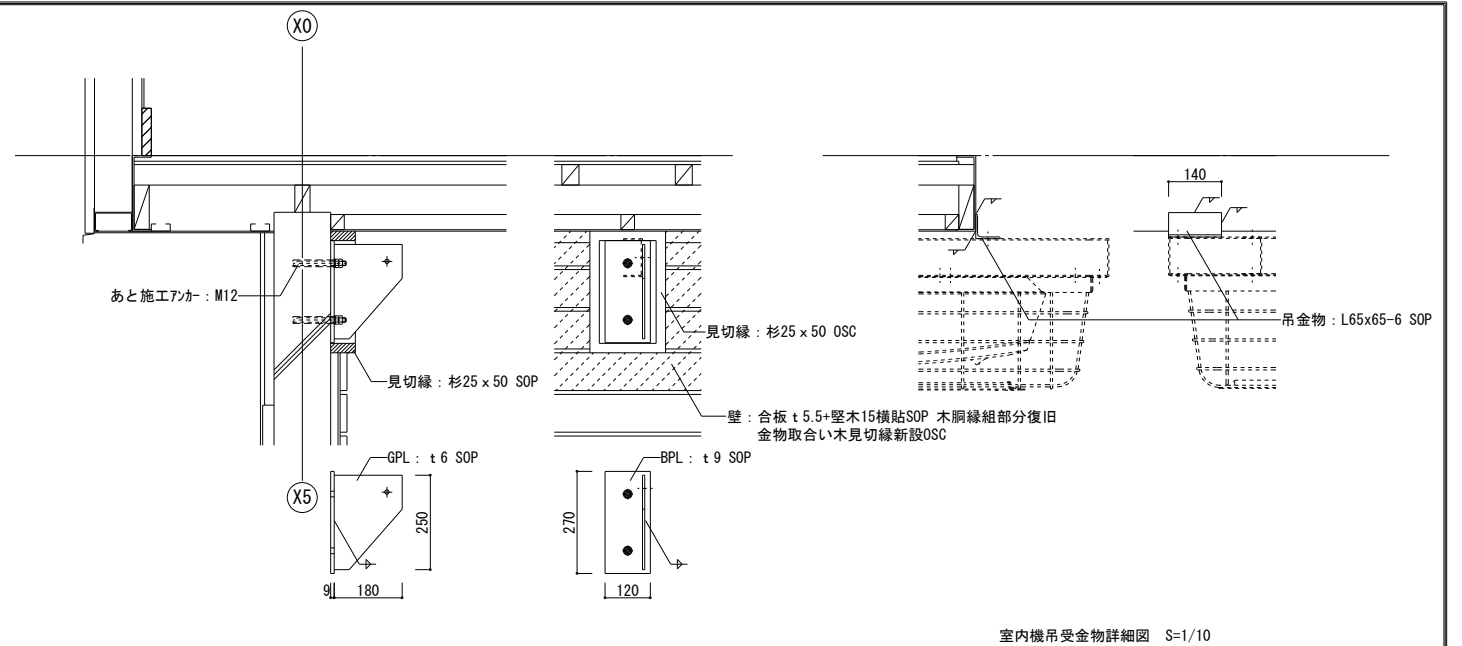


摘要	※施工後は屋内運動場すべて床清掃を行うこと	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	木村	木村	木村	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	2階平面図	A-09

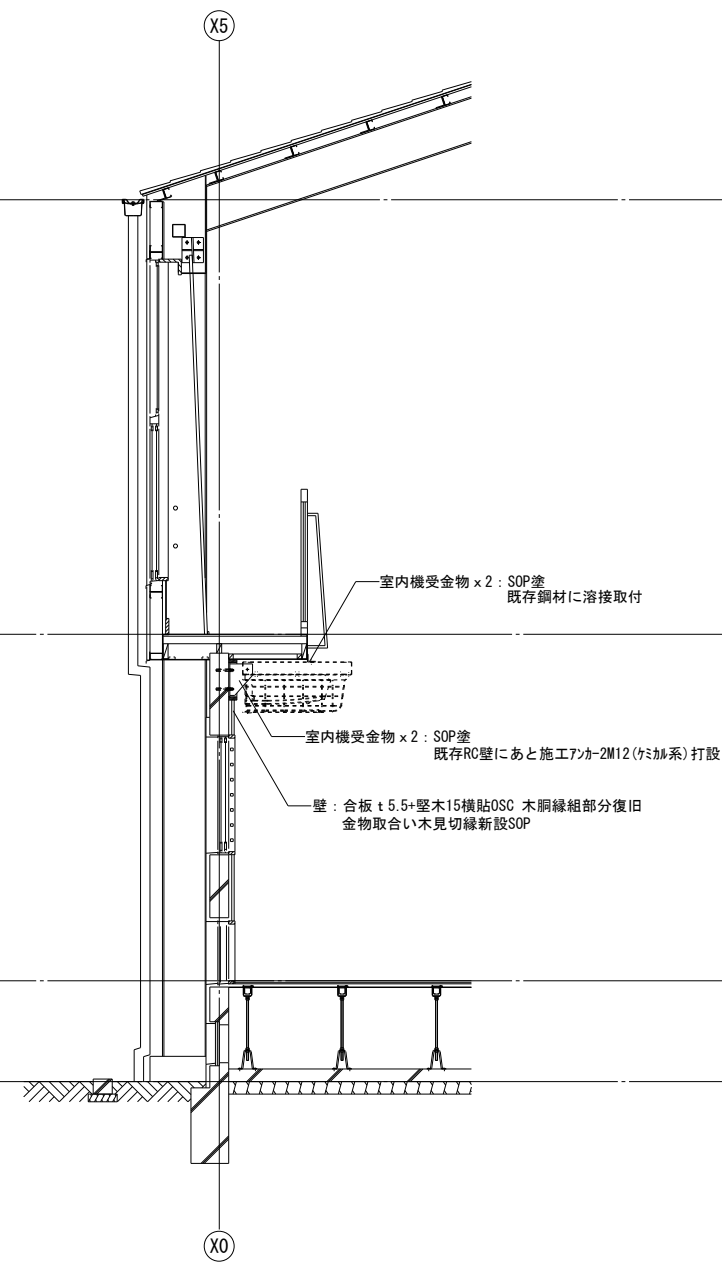


改修前 矩計図S=1/30

撤去範囲を示す

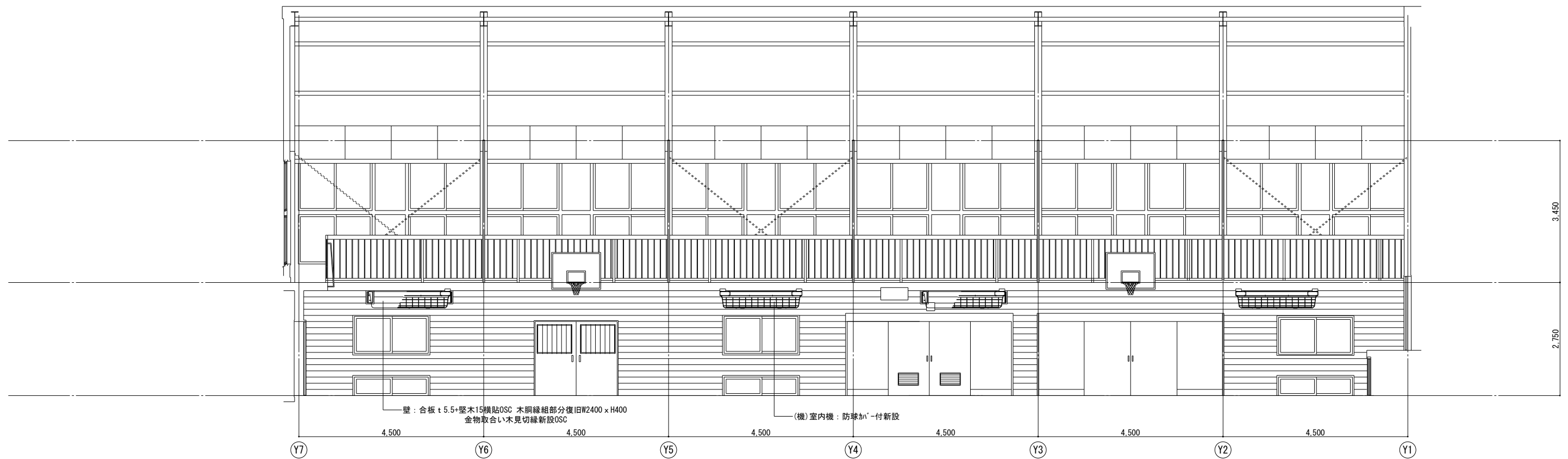
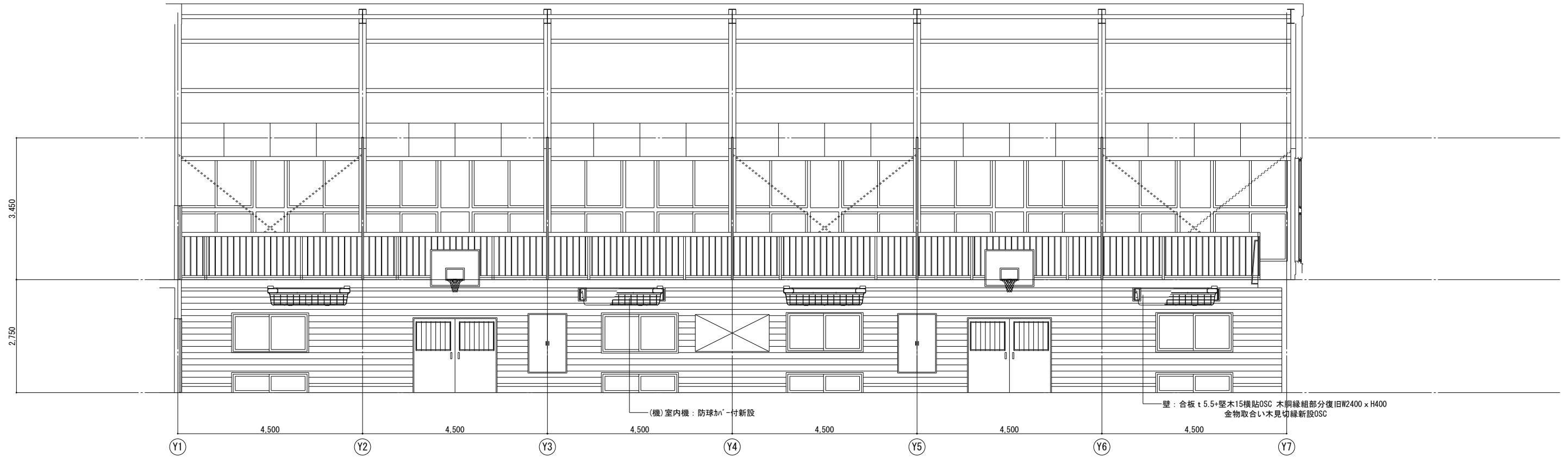


室内機吊受金物詳細図 S=1/10




改修後 矩計図S=1/30

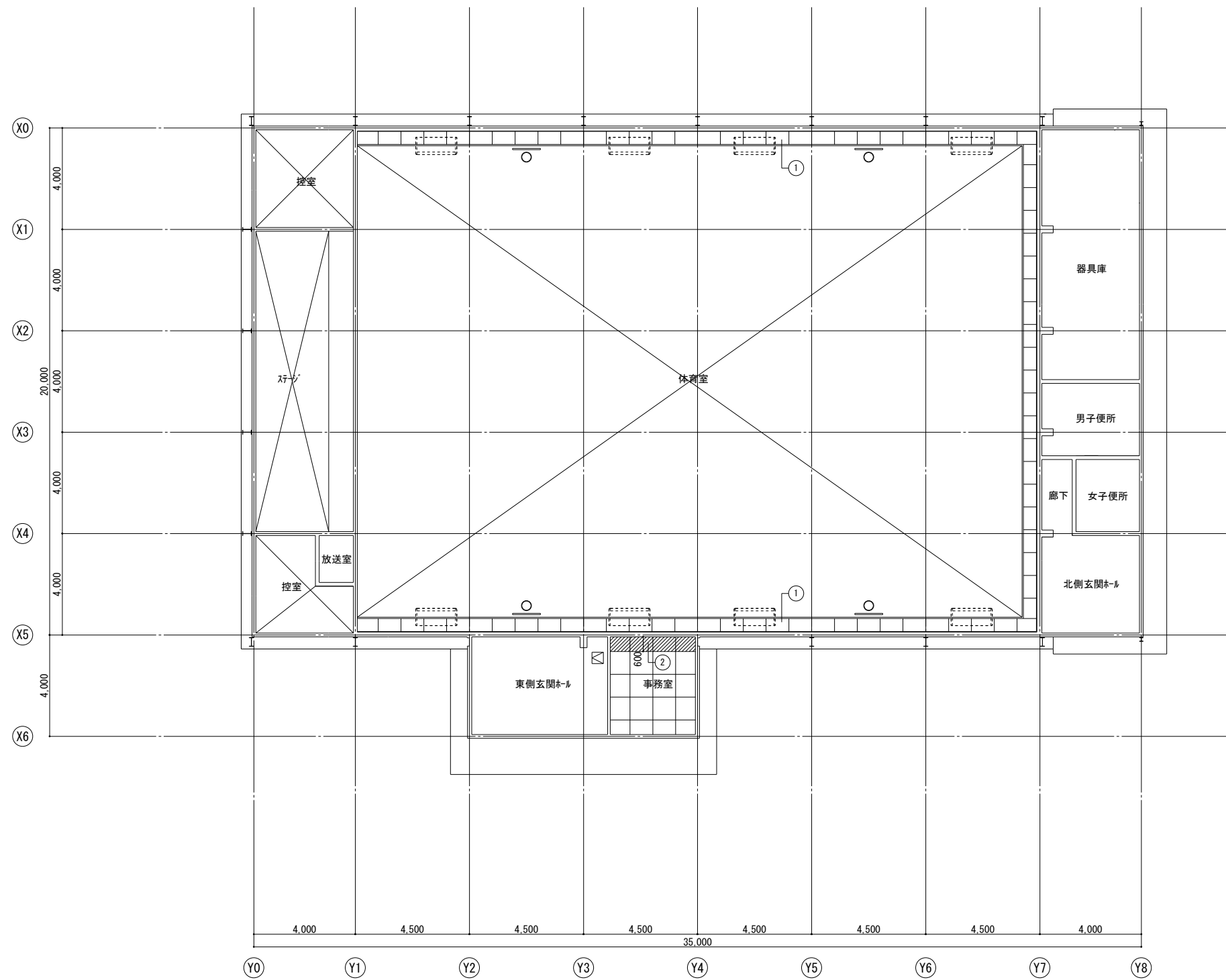
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
						A1:S=1/30 A3:S=1/60			
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男							



摘要	設計年月日	株式会社金子設計 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			  	A1:S=1/50 A3:S=1/100	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	展開図	A-11		

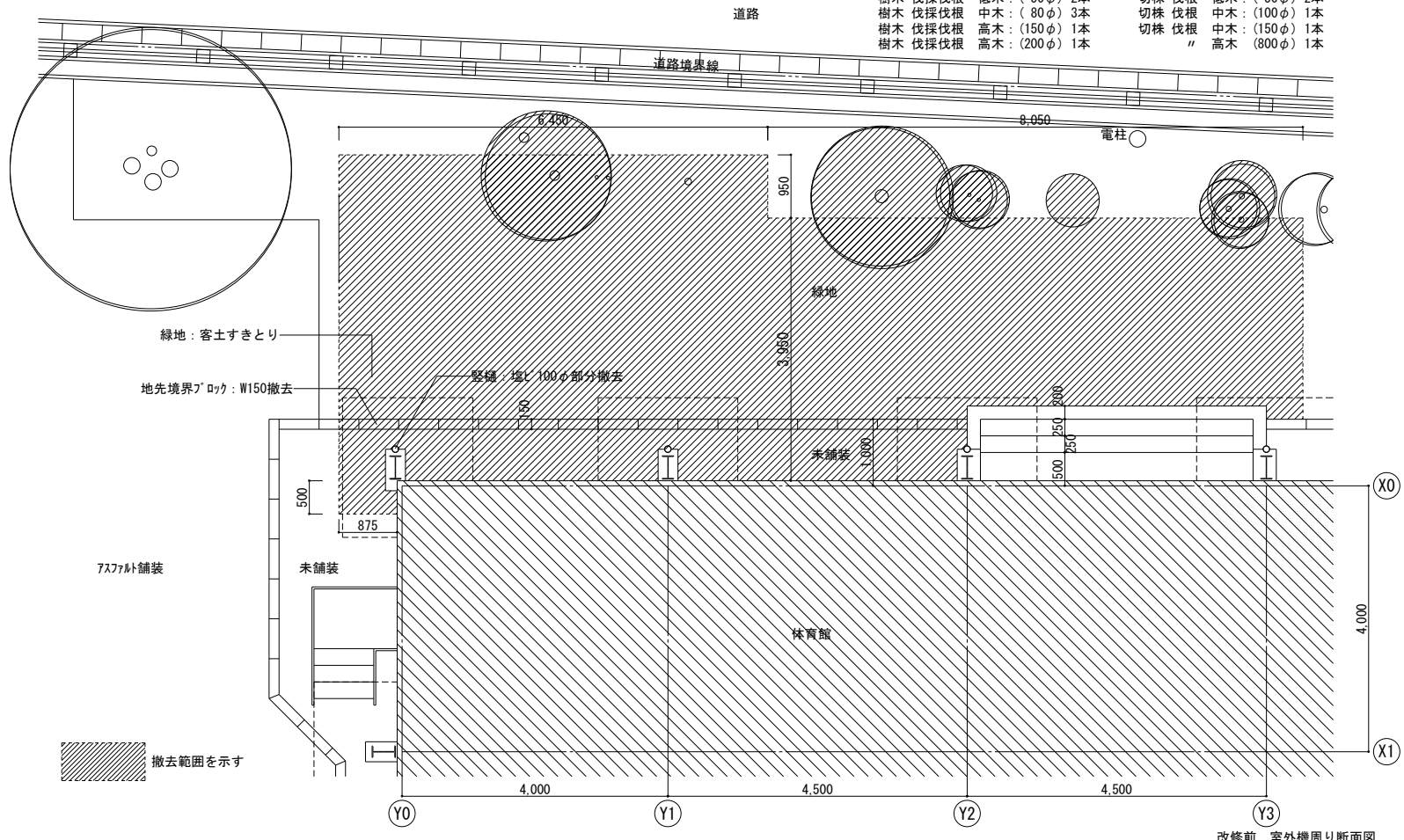
記号	下地	天井仕上	廻縁
①	木	しな合板 t 4目透し貼 SOP	-
②	LGS	化粧石膏板 t 9.5貼 下地共撤去・復旧	塩ビ
☒		天井点検口 : 450 x 450 7#製 新設	

 撤去復旧範囲を示す

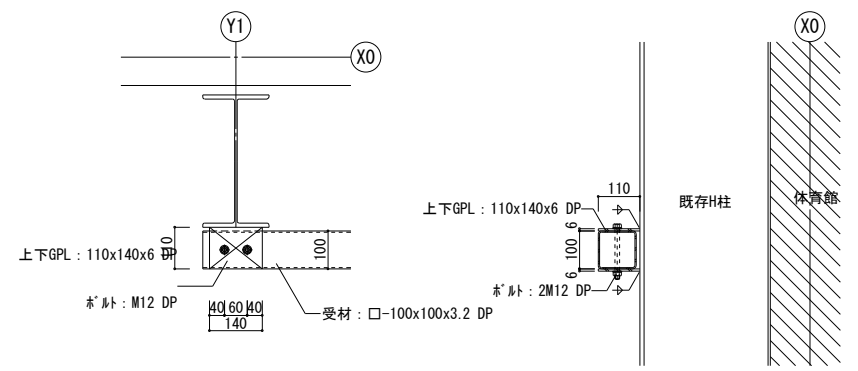


摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
						A1:S=1/100 A3:S=1/200			
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男							

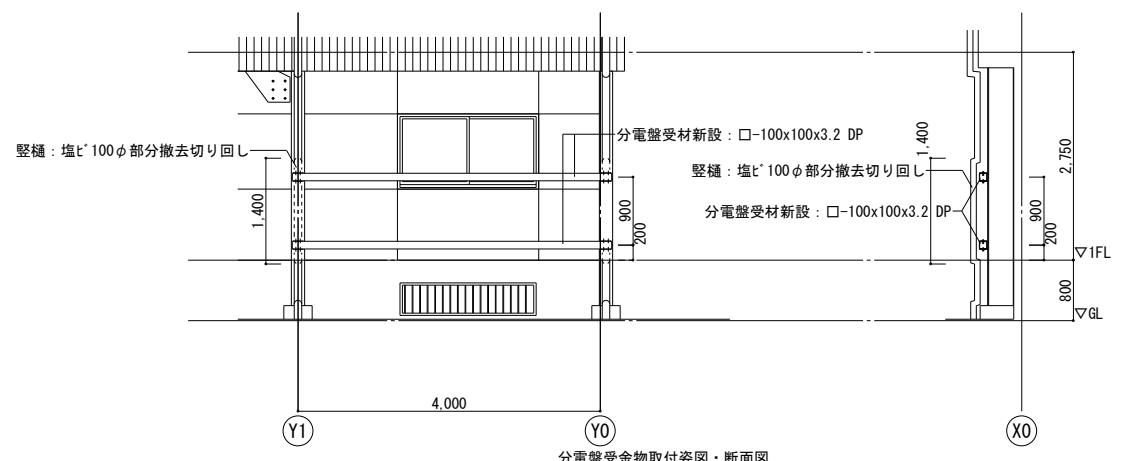
撤去樹種
 樹木 伐採伐根 低木：(50φ) 2本
 樹木 伐採伐根 中木：(80φ) 3本
 樹木 伐採伐根 高木：(150φ) 1本
 樹木 伐採伐根 高木：(200φ) 1本
 切株 伐根 低木：(50φ) 2本
 切株 伐根 中木：(100φ) 1本
 切株 伐根 中木：(150φ) 1本
 切株 伐根 " 高木 (800φ) 1本



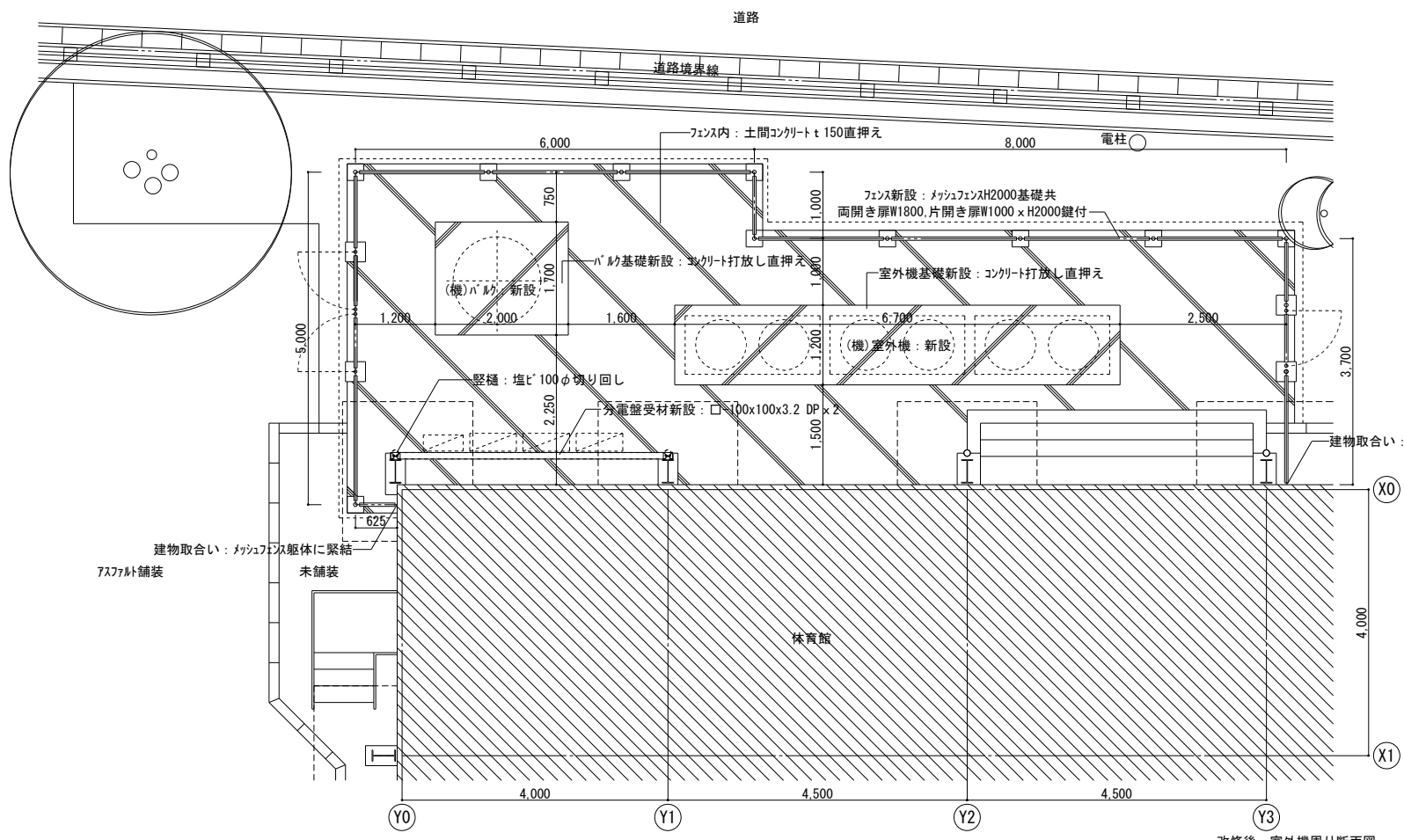
改修前 室外機周り断面図



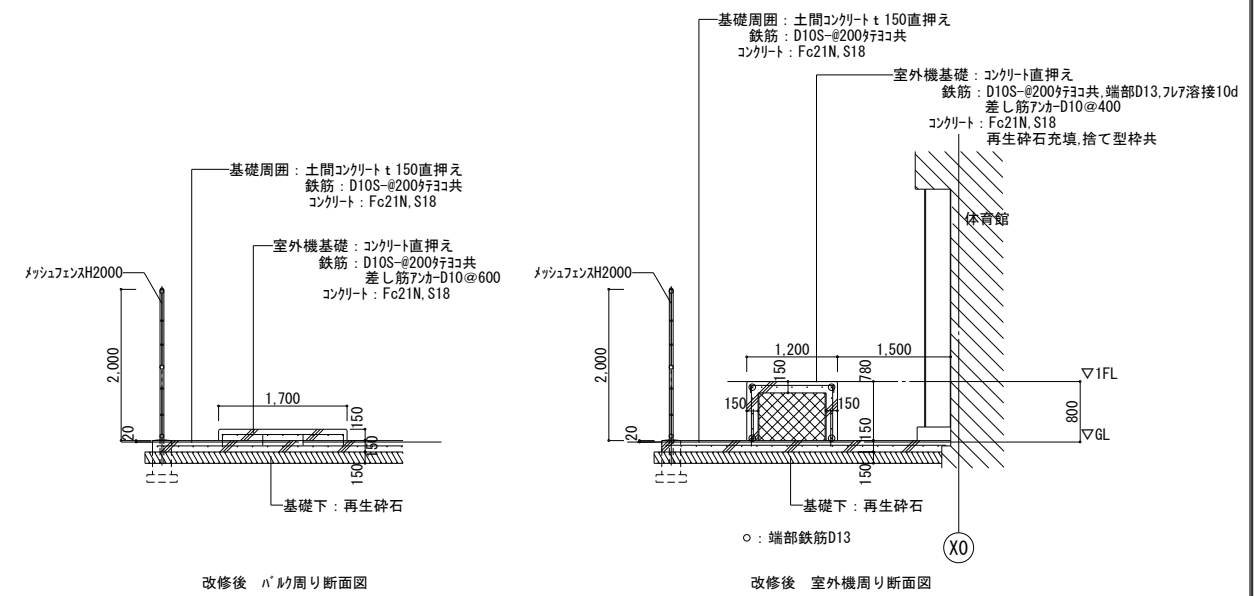
分電盤受金物詳細図 S=1/10



分電盤受金物取付姿図・断面図

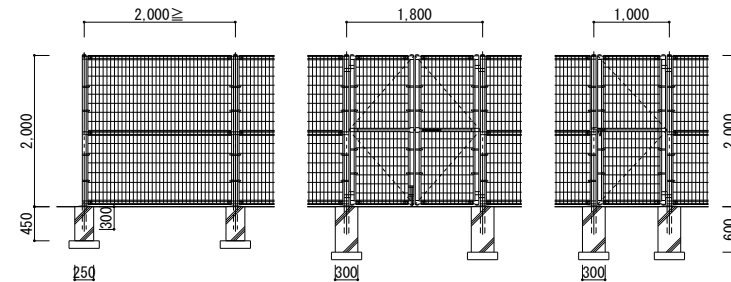


改修後 室外機周り断面図



改修後 パル周断面図

改修後 室外機周り断面図

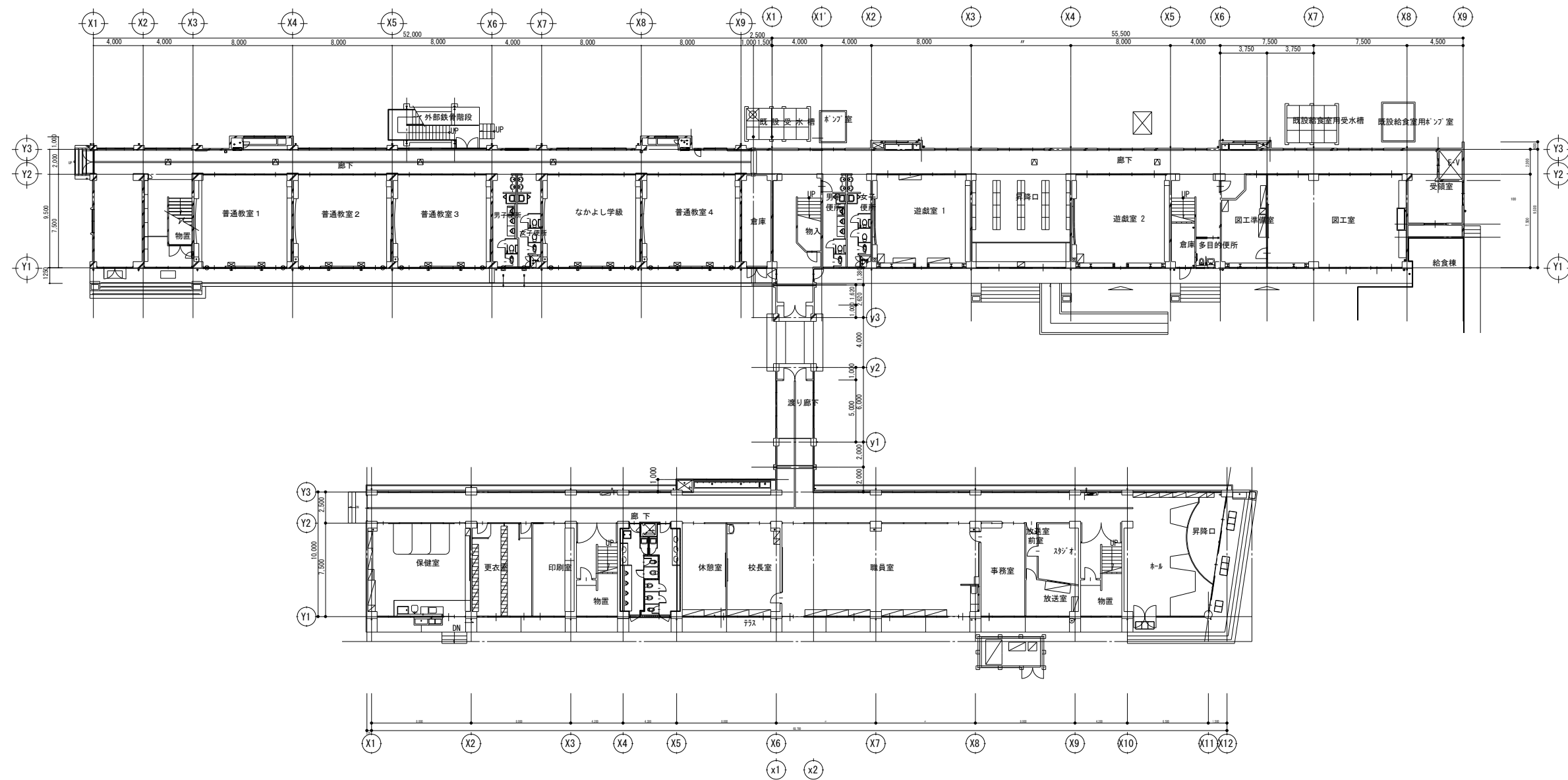


メッシュフェンス(参考)姿図

仕様
 フェンス支柱：50.8φ x 2.3
 門扉支柱：60.5φ x 3.2
 メッシュ材：ワイヤメッシュ(ハイテンション線)
 フェンス基礎：既製品コンクリート180 x 180 x 450
 門扉基礎：既製品コンクリート300 x 300 x 600
 門扉装備：丁番、戸当り付両面回転施錠
 両面スライド施錠、丸落し・受け

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	不	書	書	A1:S=1/10.50 A3:S=1/20.100	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	屋外基礎詳細図	A-13

記号	天井点検口・開口補強
☒	天井点検口：450 x 450 7A製



摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦博	☒	☒	☒	A1:S=1/200 A3:S=1/400	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	校舎1階平面図(新設天井点検口位置図)	A-14

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工事名 小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)
1.2 工事場所 吉川市吉川団地1番10号
1.3 工期 契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。
1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

Table with 2 columns: Equipment/Work Item and Details. Includes items like 電灯設備, 動力設備, 電気設備, etc.

- 1.5 指定部分 ○無・有(工期:令和年月日)
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
1.7 建物概要

- 1.8 工事概要
1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

- 2 工事仕様
2.1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 1 機械等, 2 施工条件, 3 工事用電力・水, 4 工事用仮設物, 5 足場・さんばし類, 6 監督員事務所, 7 保 険, 8 再使用機材, 9 建設リサイクル法の適用, 10 完成図書の電子納品, 11 発生材処理.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 12 金属電線管の塗装, 13 鍵, 14 地中電線路, 15 回路の種別行先の表示, 16 電線の接続, 17 電線管の接続, 18 接地工事, 19 建設発生土の処理, 20 再生砂・再生アスコン, 21 耐震施工, 22 あと施工アンカー, 23 はつり及びあと施工アンカー打設, 24 改修部分の足場, 25 墜落制止用器具(フルハーネス型).

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 26 アスベスト事前調査結果の報告, 27 その他.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する), 1 電灯設備, 2 動力設備, 3 雷保護設備, 4 受変電設備, 5 構内情報通信網設備, 6 電力貯蔵設備, 7 発電設備.

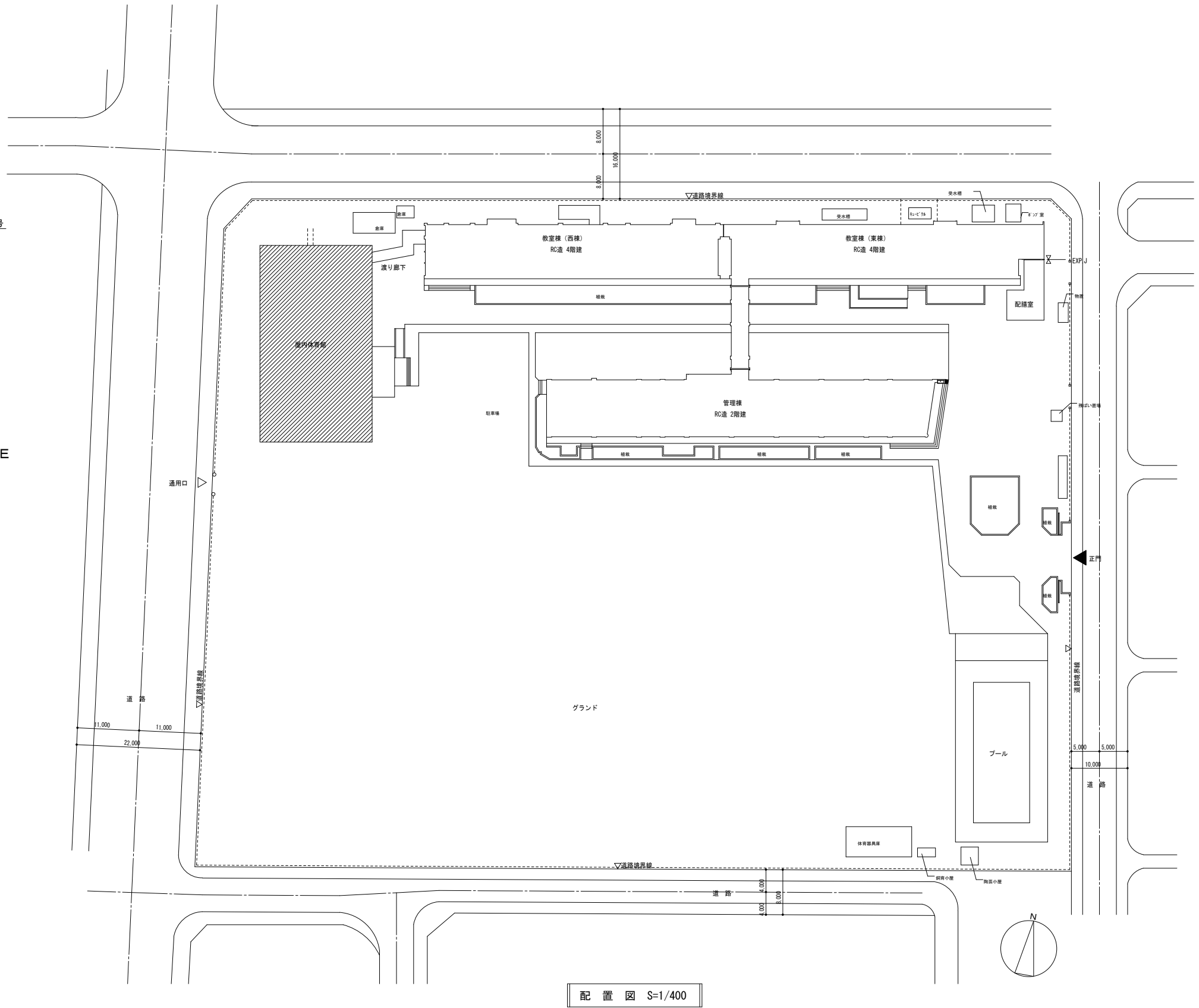
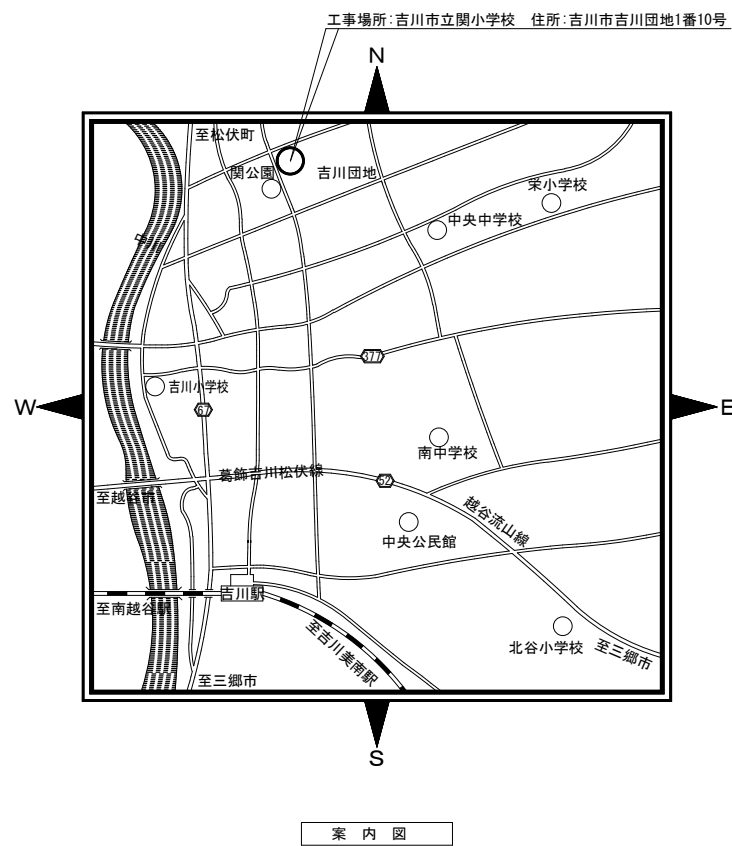
Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 8 構内交換設備, 9 自動火災報知設備, 10 昇降機設備.

Table with 4 columns: Name, Measurement Point, General, and Residential. Includes sections for 2.4 取付高さ, 3 その他.

- 3 その他
3.1 他工事との取合区分
3.2 図面上の縮尺
3.3 疑義

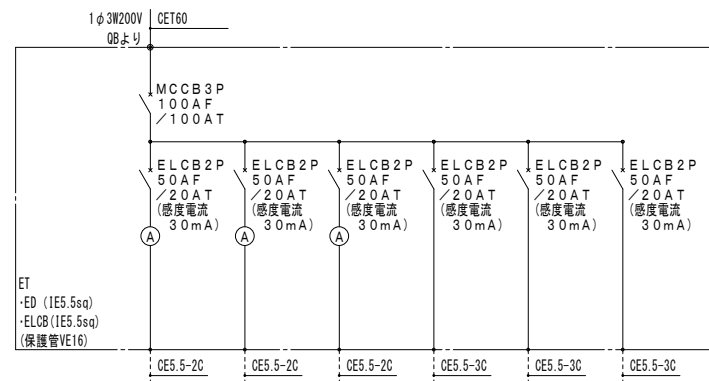
Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 舗装版切断時に発生する漏水の処理に係る特記仕様書, 1 第1条, 2 第2条, 3 第3条, 4 第4条, 5 第5条, 6 第6条.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for 昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書, 1 第1条, 2 第2条, 3 第3条, 4 第4条.



■ 凡例
 // 工事対象建物を示す

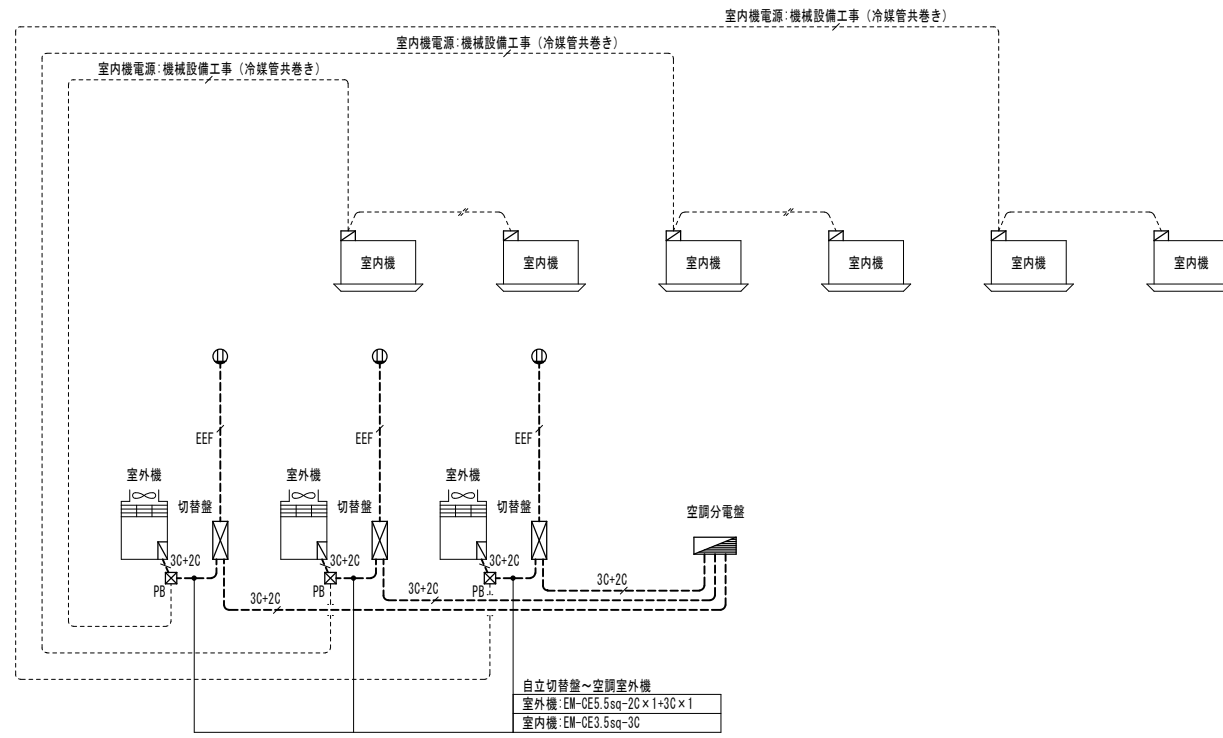
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦房				A1:S=1/400 A3:S=1/800	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	配置図・案内図	E-02



負荷名称	自立切替盤1	自立切替盤2	自立切替盤3	自立切替盤1	自立切替盤2	自立切替盤3	計
空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室内機他	空調室内機他	空調室内機他	
記号	GHP-1	GHP-2	GHP-3				
消費電力(kW)	1.33	1.33	1.33	1.3	1.3	1.2	7.79
				(室内機:0.3kW) (室外機:1.0kW)	(室内機:0.3kW) (室外機:1.0kW)	(室内機:0.2kW) (室外機:1.0kW)	
運転電流(A)	8.1	8.1	8.1	6.5	6.5	6.0	43.3
定格電流(A)	9.72(※1)	9.72(※1)	9.72(※1)	6.5	6.5	6.0	48.16
許容電流(A)	12.15(※2)	12.15(※2)	12.15(※2)	6.5	6.5	6.0	55.45
最大電流(A)	20	20	20	6.5	6.5	6.0	79
	P560	P560	P560				

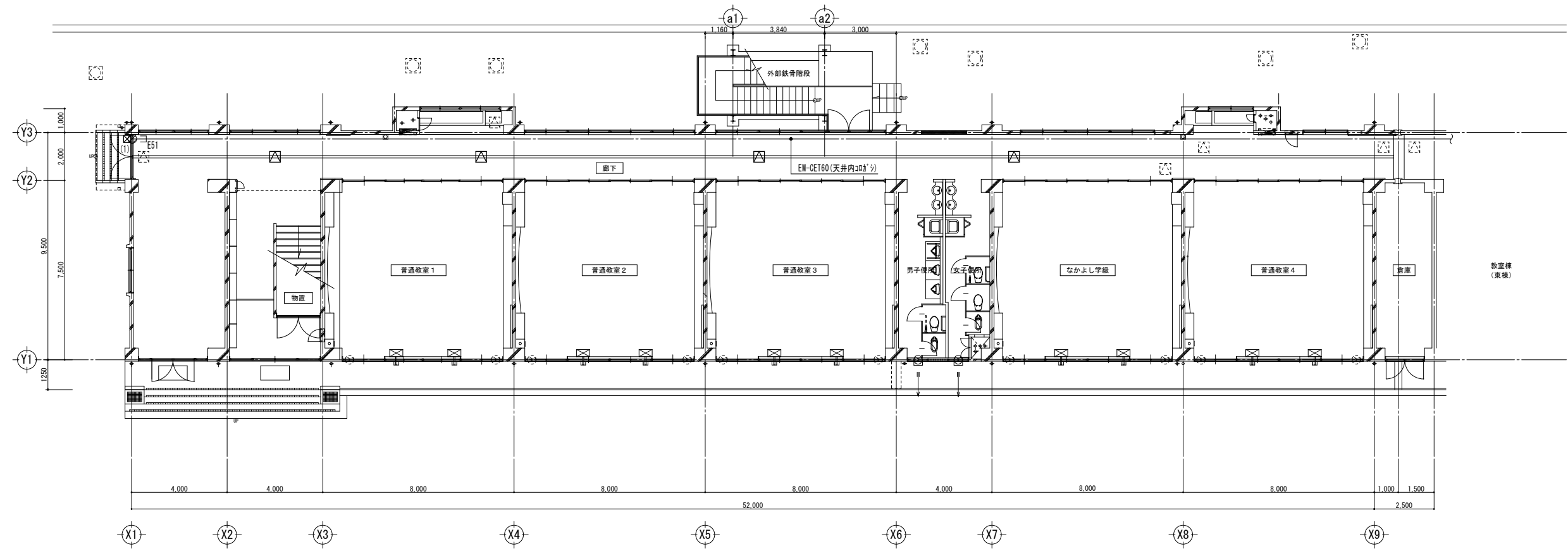
L-A-C-1
屋外銅板製露出型壁掛型

盤名称 盤型式 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	分枝回路										備考		
		回路 番号	電圧 (V)	ブレーカー			負荷 種類	負荷名	容量					
L(屋)ー1 屋内銅板製 露出壁掛型	1φ3W 100/200V 電灯盤													
	L-AC-13J	[1]	100V	○	2	50	20	0	コンセント					
		[2]	100V	○	2	50	20	0	コンセント					
		[3]	100V	○	2	50	20	0	コンセント					

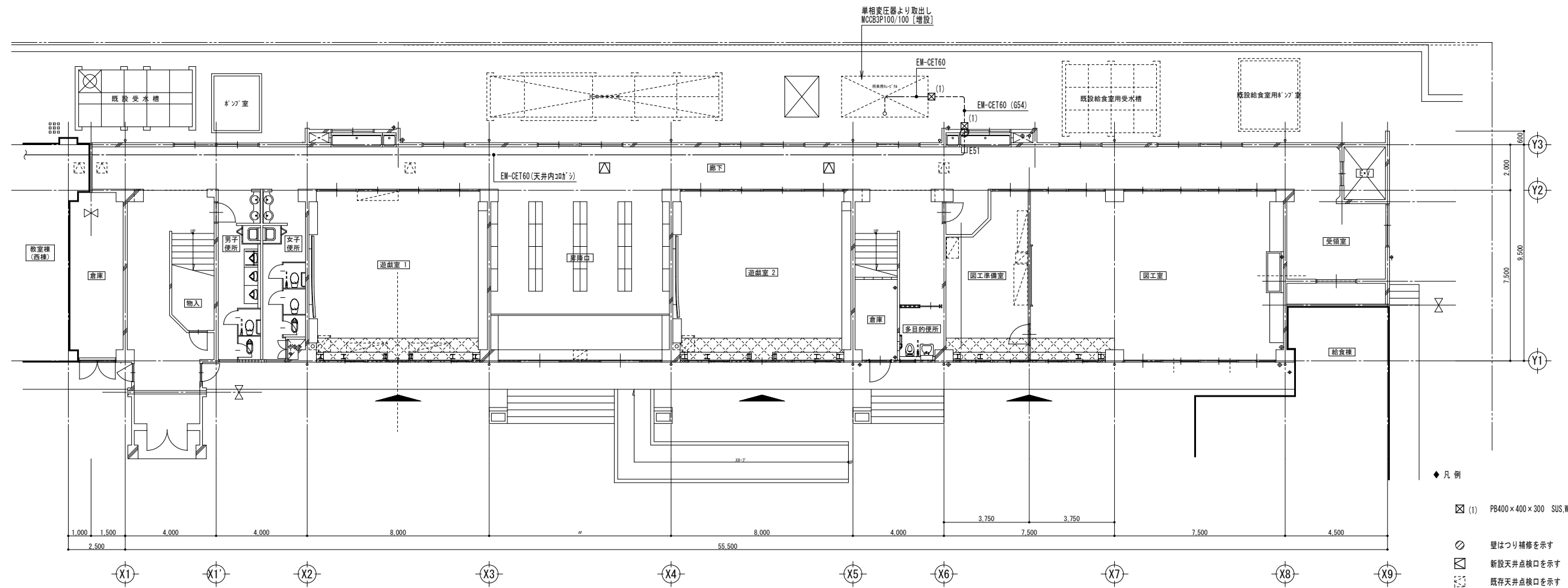


電源配線系統図

- 凡例
- EEF : EM-EEF2.0-3C(17-λ) 又はEM-IE2.0×3(17-λ)
 - 2C : EM-CE5.5sq-2C
 - 3C : EM-CE5.5sq-3C(17-λ)
 - Ⓜ : 防災コンセントを示す。
 - ⓧ : 自立切替盤を示す(機械設備工事)。
 - ▨ : 分電盤を示す。



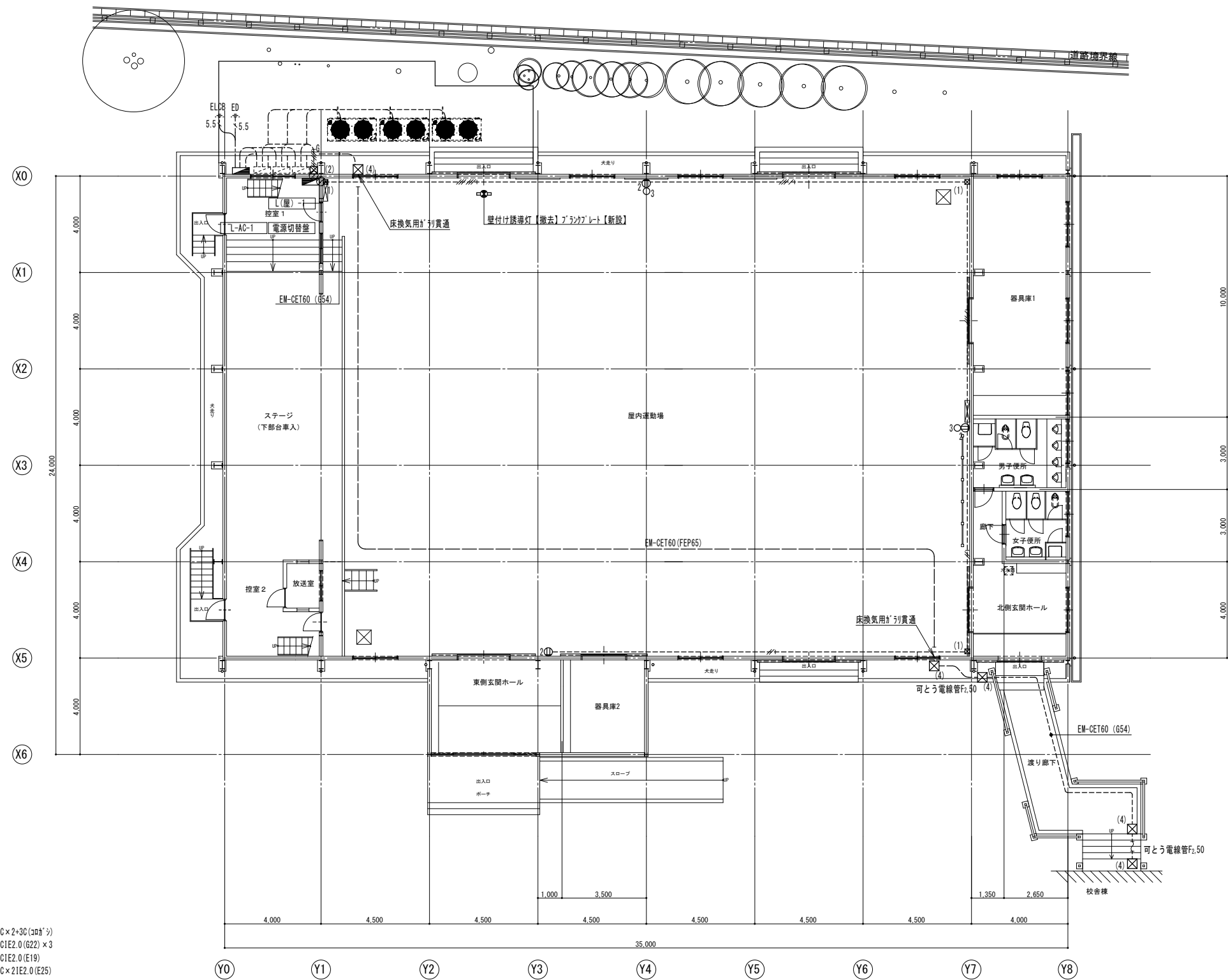
1階平面図 (西棟) S=1:100



1階平面図 (東棟) S=1:100

- ◆ 凡例
- ☒ (1) PB400×400×300 SUS,WP
 - 壁はつり補修を示す
 - ☒ 新設天井点検口を示す
 - ☒ 既存天井点検口を示す

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦博	☒	☒	☒	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	教室棟 幹線設備 1階平面図	E-04



◆ 凡例

- G --- EEF2.0-2C×2+3C (20A³)
- G --- EEF2.0-2C1E2.0 (G22) × 3
- G --- EEF2.0-2C1E2.0 (E19)
- G --- EEF2.0-2C×21E2.0 (E25)
- G --- EEF2.0-2C×31E2.0 (E31)

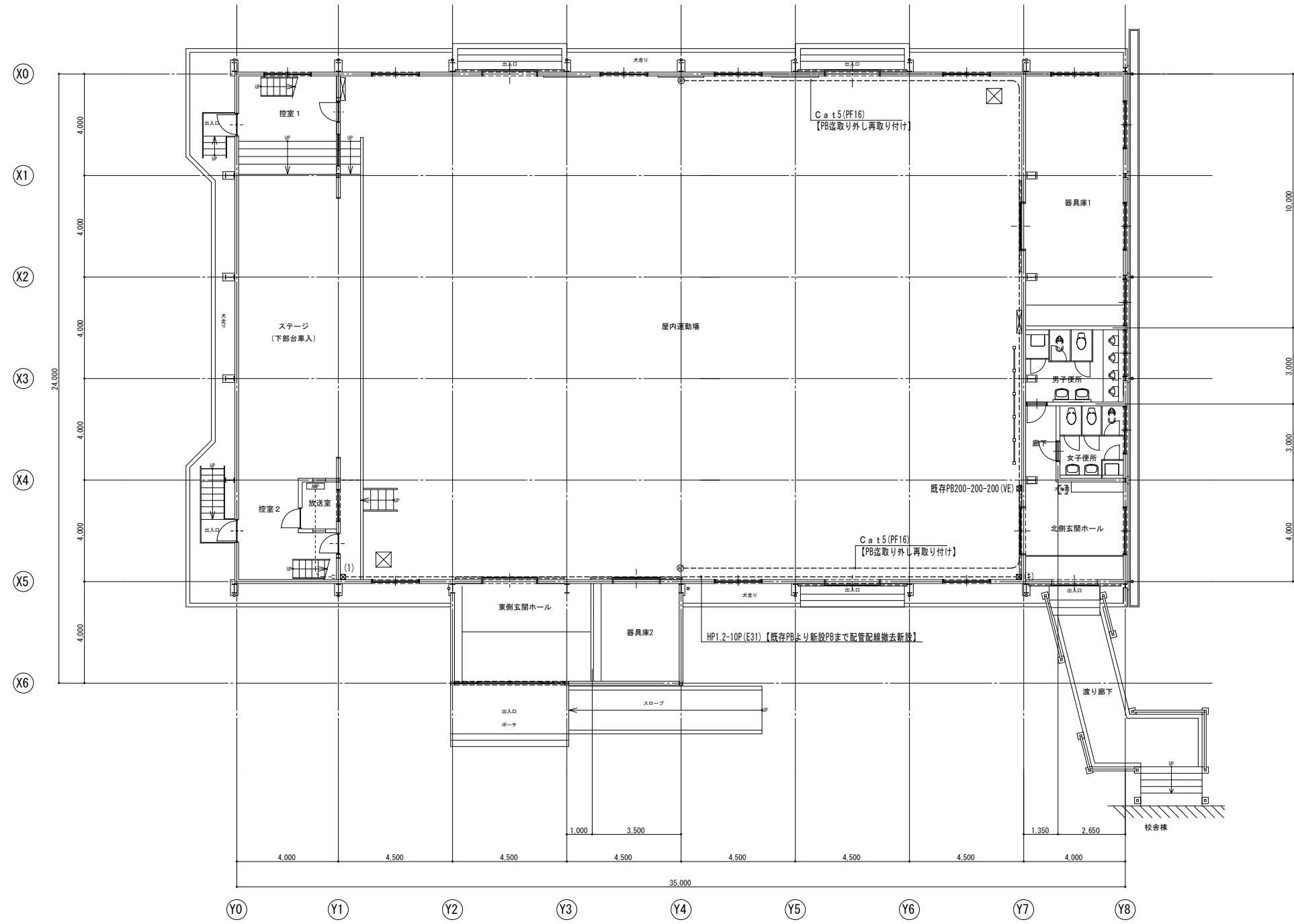
- [H] 600×600×900H (R2K-60)
- ☒ (1) PB200×200×200
- ☒ (2) PB300×300×200SUSNP
- ☒ (3) PB300×300×200
- ☒ (4) PB400×400×300SUSNP

- ⊕ 2 コンセント2P15A×2 (赤プレート)
- 3 露出ボックス 3方出
- ⊥ 接地棒14φ×1,500mm (配線太さ、保護管は結線図による)
- 壁はつり補修を示す
- ☒ 地中埋設表を示す

分電盤二次側配線表	配線	配管	機器接続部
行先			
空調分電盤L-AC-1~自立切替盤	EM-CE5.5sq-2C×1+3C×1	G36	F:38
自立切替盤~空調室外機	室外機: EM-CE5.5sq-2C×1+3C×1	G42	F:50
	室内機: EM-CE3.5sq-3C		
自立切替盤~L (屋)-1	EEF2.0-2CE2.0	G22	F:24

1階平面図 S=1:100

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	☒	☒	☒	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	幹線・電源・コンセント設備 1階平面図	E-05



1階平面図 S=1:100

- ◆凡例
- 放送卓 (既存)
 - ◎ 7ヶ柱ノット (既存)
 - (1) PB200×200×200
 - (+) PB200×200×200 (既存)

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	☉	☉	☉	A1:S=1/100 A3:S=1/200	小中学校体育館エアコン整備工事(関小学校)	弱電設備 1階平面図	E-06